



八戸高専だより

第167号 令和7年3月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>



目次

卒業生・修了生への祝辞(学校長より) ……	1	4 学期制実施部会から ……	18
卒業生・修了生への祝辞(後援会長より) ……	2	STEAM教育支援センターから ……	19
本科生 祝・卒業 ……	3	グローバルエンジニア室から ……	20
卒業生・修了生の進路状況 ……	5	国際交流室から ……	21
卒業研究テーマ一覧表 ……	7	相談室から ……	21
専攻科生 祝・修了 ……	9	ダイバーシティ推進委員会から ……	22
専攻科特別研究発表会表彰者 ……	9	「イノベーションハブ」オープン ……	22
専攻科特別研究テーマ一覧表 ……	10	図書館委員会から ……	23
就職・進学体験記 ……	12	学生の活躍 ……	23
インターンシップ ……	13	全国高専体育大会結果一覧 ……	24
再生可能エネルギー(風力)分野の取り組みについて ……	13	各種コンテスト結果一覧 ……	25
退職するにあたって ……	14	各種検定資格合格者数一覧 ……	26
教務委員会から ……	15	スポーツ賞受賞者一覧 ……	26
厚生補導委員会から ……	16	令和7年度行事予定表 ……	27
北辰寮から ……	17		



卒業のはなむけに「誠実・進取・協調」

八戸工業高等専門学校 校長 土屋 範 芳

卒業、修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

皆さんが本校に入学されたのは、令和2年(2020年)の4月です。その時、日本は、いや世界は、新型コロナウイルスの猛威に完全に打ちのめされていた時でした。授業はおろか、さまざまな学校行事は、中止もしくは、リモートでの開催となり、学校生活の活力が大きくそがれてしまいました。皆さんはその苦しい時を乗り越えて、今ここに立っています。こんなはずではなかったと、悔しい思いもしたことでしょう、心が折れそうになったこともきっとあったと思います。でも、それを乗り越えてこの時を迎えられたこの事実はとても重いものがあります。私は皆さんを誇りに思いますし、また皆さんも自分で自分をほめてあげてください。皆さんは苦しい時を生き抜いてきたと思います。

皆さんは、これからの社会の中で、また進学先で、自らの力で生きていくことが要求されます。今よりもっと自立と自己責任が求められます。大きな不安があることと思います。そして期待に胸を膨らませているでしょう。でも皆さんは大丈夫です。ここに立っていることがその証拠です。自信を持ってください。

人生100年時代と言われるようになりました。皆さんが100歳になるころ、ちょうど22世紀を迎えます。いま、世界は揺れ動いています。戦争が起こり、家を失う人、命を落とす人がたくさんいます。また社会の分断は、地域、国、民族間などさまざまなレベルで生じています。分断は憎しみといさかいを生み、それが戦争へとつながります。これに加えて、気候変動、食糧問題など、地球規模の問題は人類の生存を脅かしています。果たして、持続的で平和な22世紀を迎えられるのか、なんだか怪しくなってきましたが、それを何とか実現するのはあなた方自身です。

皆さんは、本校の特徴である自主探究をコロナ禍の中でも1年生の時から取り組んできました。

自ら課題を発見し、解決していく、そしてその結果を人に伝える、こういう取り組みのなかで、自分で考え、自分の意見を自分の言葉で人に伝えていく力をしっかりと身につけてきました。勉強はこれからもまだまだ続きますが、皆さんはどう学ぶか、それをどう活かすのかのすべをしっかりと学びました。それは、皆さんの血となり、肉となって、心と体に取り込まれていることでしょう。大切な財産です。

八戸高専は国際化を進めています。多くの留学生がいて、日本人とともに生活しています。そして八戸高専生の活動の場は、地域を基盤にして、グローバルへと展開していっています。グローバルレベルで、新しいことを見つけ開拓し、大いに羽ばたくことを期待しています。

八戸高専の校訓は、「誠実・進取・協調」です。この校訓はわかりやすく、また覚えやすい言葉です。しかし、この校訓を持続的に、かつ更なる高みに進めるためには、たゆまぬ努力と、何よりも人としての覚悟が必要です。あらためて、卒業のはなむけに本校の校訓を皆さんに託します。

「誠実・進取・協調」、忘れないでください。この校訓を22世紀まで連れて行ってください。

本校と皆さんとの関係はこれからも続きます。そのため一般財団法人「はちのへ科学技術研究会」を立ちあげています。この財団では、地域の企業支援や、本校卒業生の卒業後のキャリア支援などの事業を行っています。卒業後に困ったことがあったら、本校や財団にご連絡ください。八戸高専は皆さんの母校です。故郷はいつでも皆さんを待っています。

最後に、これまでご支援いただいた保護者の方々、関係者の方々にお祝いと感謝を今一度申し上げるとともに、卒業生、修了生の輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

Wherever you go, you can create a new home.

後援会長 橋 本 司

卒業並びに修了を迎えられた皆様、誠におめでとうございます。卒業生の保護者の皆様、後援会活動にご理解・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。これまで学生達を支えてくださった校長先生はじめ先生・職員の方々、心からお礼申し上げます。思い出すのはパンデミック禍での入学式。体育館に保護者は入ることができず、教室のテレビで「これは我が子の頭かな」と思いながら画面を眺めていました。同時に「この子達のために何かできることはないかな」と、後援会に入ることにしました。思い出すと寒々しい入学式でしたが、なかなかできない貴重な体験をしました。いまでは懐かしい思い出です。

貴重な体験といえば、昨年、インバウンド向けのガイド講座を受講しました。八戸の横丁文化を英語で紹介することになり、わたしの担当は「ロー丁れんさ街」でした。普段、飲み歩かないので横丁文化に何も思い入れもなく、どうやって紹介しようと悩みました。そこで、とりあえず、お店に入ってみようと、ロー丁の居酒屋に入りました。そこは、元バスガイドの親子がやっているお店でした。ツアーガイド講座で英語圏向けのツアーを作っていることをおかみさんに話したところ、たくさんの情報をいただき、せんべい汁までごちそうしていただきました。わたしは、ここで得られた情報を元に、シナリオガイドブックを作成しました。仕事が終わると、ロー丁に行き、お店や立ち位置を確認し、ブツブツ暗記したセリフを練習することを繰り返しました。そして、ガイド研修当日は、吐きそうなくらい緊張しましたが無事に終えることができました。そうしたらどうでしょう。何も思い入れもなかった横丁の景色が一変、ちょうちんの明かりは温かく、この横丁がかけがえのない場所が変わっていたのです。ロー丁の赤ちょうちんが、わたしの「ふるさとの景色」の1ページに加えられた瞬間でした。

みなさん、「ふるさと」と聞いて、どのような景色を思い出しますか？私にとっての「ふるさとの景色」は、生まれ育った場所に当然ありますが、もう一つの意味で、自分が一生懸命に生きた場所にもあり

ます。だから、生まれ育った八戸はもちろん、学生時代を過ごした盛岡にも日本語教師のアシスタントをしていたパースにも「ふるさとの景色」があります。そういった意味で、高専の学び舎は、みなさんの「ふるさとの景色」のページをたくさん彩っているのではないのでしょうか。

わたしは、このもう一つの意味での「ふるさとの景色」をたくさん作って欲しいと思っています。どうしてこの「ふるさとの景色」をたくさん作ることを勧めるのかというと人生の岐路に立ったとき、自分を支えてくれるからです。これからの人生、良いこともあればそれなりのことにも直面するときがあるでしょう。そのようなときに「ふるさとの景色」が自分を励ましてくれます。正確に言うと、ふるさとの景色の中で、過去に頑張った自分が励ましてくれるのです。だから、わたしはいつも与えられた仕事は一生懸命にするようにしています。ときには、病気や家族の世話とかで思うようにできないこともあります。頑張った先には素晴らしい景色が広がり、その景色が未来の自分を励ましてくれることを知っているからです。ですから、あなたの選択を信じて一生懸命に生きて欲しいです。たとえ、それが、周りから無駄だと言われるようなことでも、自分にとって大切なことだったら、それでいいじゃないですか。

最後に、わたしは、みなさんに「ありがとう」を言いたいのです。それは、後援会会長をさせてもらったことです。二年間、さまざまなことがありました。正直に言うとやめたいと思うことも何度かありました。至らない点がたくさんあったと思いますが、わたしはとにかく一生懸命やりました。そのおかげで、今では、後援会のメンバーは大切な仲間になり、一緒に過ごした景色はわたしの心の支えとなりました。あの寒々しい入学式でみなさんを画面越しに見なければ、わたしが会長になることはなかったでしょう。

「ふるさとの景色」、それは、あなた自身が作るものです。これから、たくさんの「ふるさとの景色」を作る旅へ出発するみなさんに、祝福あれ。



本科生 祝・卒業

産業システム工学科 機械・医工学コース

卒業おめでとうございます

機械・医工学コース長 村山 和裕

ご卒業おめでとうございます。高専生活5年間のうち最初の約2年間はコロナ禍に見舞われ、皆さんも大変苦労されたことと想います。また、各種行事や大会等が中止になって、寂しい思いも味わわれたことでしょうか。私たちが皆さんの躍動する姿を見ることができずに、大変残念でした。

4月からは新しい生活が始まるわけですが、戸惑うこともあるでしょう。しかし、自分を磨く努力を怠らなければ、きっと未来は開けてきます。

皆さんのご活躍を期待しています。

新たな門出に際し

機械・医工学コース5学年担任 森 大祐

卒業を迎える皆様ならび保護者の皆様には心よりお慶び申し上げます。

進路は様々ですが、これからも色々なチャレンジが待っています。失敗・挫折を味わうことがあると思いますが、その時には「自分はやったのか？できなかったのか？」心に聴いてみて下さい。十分な結果が得られず「できなかった。」という時があるかもしれません。それでも「自分はやった。」と自信を持って言い切れるよう、困難にぶちあたってもあきらめることなく行動して下さい。あきらめないの連続でできるようになるはずですよ。卒業する皆さんにはその能力があるはずですよ。

皆さんとの5年間楽しかったです。ご健康とご多幸をお祈りします。

5年間の日々に感謝

機械・医工学コース5年 下柘柵弘大
(新郷村立新郷中学校出身)

5年前、多くの希望と目標を胸に入学式に向かったことをつい昨日のこのように覚えています。時は一瞬で過ぎ去り今振り返るとこの5年間で貴重な経験をさせて頂きました。友人との思い出や夜遅くまでパソコンに向かったCADの課題などすべてかけがえない思い出です。これも苦楽を共にした友人、熱心にご指導を頂いた先生方、そして家族の支えがあったからです。これからの長い人生、困難に直面すると思いますが高専で得た経験、学びは私の支えになると信じています。

最後に、本校の益々の発展と、皆様方のさらなるご活躍をお祈りします。5年間本当にありがとうございました。

産業システム工学科 電気情報工学コース

ご卒業おめでとうございます

電気情報工学コース長 兼 5学年担任 野中 崇

ご卒業おめでとうございます。ご家族の皆様、関係者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

八戸高専での学生生活は、学業はもちろん、クラブ活動、教職員、クラスメートや先輩後輩との交流、学外での様々な活動、うまくできたこと、失敗したこと、楽しかったこと、大変だったこと、すべて、みなさんの成長につながり、大きな財産になると思います。

これからも社会構造や価値観が大きく変化してく中でも、高専での経験を活かしつつ、臨機応変に対応して、さらに飛躍されることと思います。将来のみなさんのご活躍をお祈りいたします。

学びを胸にそれぞれの道へ

電気情報工学コース5年 大高 流玖
(八戸市立第二中学校出身)

15歳。あの入学式から5年が経ち、卒業を迎えようとする中、私たちは大いに遊び、大いに学び、レポートは前日徹夜し、大変充実した学校生活を送ってきました。

今日までの高専の学びは単なる知識や技術の習得にとどまりません。未知の課題に挑み、試行錯誤を繰り返すプロセスの中で、「学ぶ」ことの何たるかを教えていただきました。これからそれぞれの道に進んでいく中で、高専で得た経験がきっと私たちの力となるでしょう。

最後に、指導して下さった先生方、ともに5年間を過ごした学友たち、すべての人に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。





本科生 祝・卒業

産業システム工学科 マテリアル・バイオ工学コース

ご卒業おめでとうございます

マテリアル・バイオ工学コース長 齊藤 貴之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、関係者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

皆さんが入学したときは、コロナ禍で大変な時期でしたが、徐々に落ち着き、現在は通常の生活に戻りました。この5年間で、皆さんは世の中の変化に合わせて変わり、大きく成長したと思います。卒業後はそれぞれの進路へ進みますが、学校での経験を活かして、いろいろなことに挑戦し、さらに成長して欲しいと思います。

最後に、心身共に健康第一で生活して、人生を長く楽しんでください。卒業後、皆さんが元気で活躍することを楽しみにしています。

ご卒業おめでとうございます

マテリアル・バイオ工学コース5学年担任 山本 歩

ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお慶び申し上げます。3年以上もの間、コロナ禍での生活を余儀なくされ、多くの苦勞・苦悩があったことと思います。5類に移行し、学校行事や課外活動が本格的に再開した時の皆さんの躍動する姿は強く目に焼き付いています。

八戸高専での全ての経験や切磋琢磨した仲間はかけがえのない財産となることと思います。科学技術の目覚ましい進歩や産業構造、社会基盤が日々変化している世の中ですが、これまでの経験を活かしさらなる飛躍を遂げることを期待しています。

末筆ながら、ご卒業される皆さんのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

濃密な5年間

マテリアル・バイオ工学コース5年 柿崎 元徳
(十和田市立三本木中学校出身)

学年が上がるたびに一年が経つのが早く感じられるようになり、あっという間に卒業の日を迎えました。勉強や部活動、コンテストなどで常に忙しい日々を送りましたが、一日一日がとても充実していました。

高専での一番の思い出は、寮が24時に消灯していた頃、クラスメイトとスマートフォンのわずかな明かりを頼りに課題に取り組んだことです。普通の高校とは違った「青春」を味わうことができました。

5年間過ごした高専を旅立つのは少し寂しい気もしますが、新天地でも興味を抱いたことに対して、妥協することなく探究し続けたいと思います。

産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース

縁を大切に

環境都市・建築デザインコース長 南 将人

ご卒業おめでとうございます。学業を終えて旅立つ皆さんに心よりお祝い申し上げます。技術の継承や各種建設構造物の老朽化対策等、日々の生活を安心・安全に送るために若い皆さんの力に大きな期待が掛かっております。学校で学んだ事と講義や実験・実習で体得した知識に自信と誇りを持って大いに活躍される事を願っております。

今後の長い人生で仕事やプライベートを通じて様々な人と出会う事でしょう。その人との縁で「幸せ曲線」が上昇または下降する人が有ります。これから遭遇するであろう逆境を歓迎し、同級生と様々な人との「縁」を生かし、より楽しい人生を送って下さい。皆さんの御活躍に期待しています。

卒業おめでとう！

環境都市・建築デザインコース5学年担任 藤原 広和

Z5の皆さん並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。この5年間、嬉しいことも、悲しいこともあり、挫折を味わったこともあるでしょう。私は1年間でしたが、久しぶりに担任を経験し、この間、Z5の皆さんと多くの交流ができ、楽しくもハラハラさせていただきました。高専生活はいかがでしたか。時間に見れば、この5年間よりも、これからの人生はもっともっと長いはずですが、ただ、感覚としては今後の5年や10年はあっという間に過ぎ去っていきます。頑張り続けることも大事ですが、時には立ち止まってじっくり考えることも良いでしょう。人それぞれです。今後の皆さんのご活躍を祈念いたします。

高専でよかった

環境都市・建築デザインコース5年 祐川 和奏
(三沢市立第一中学校出身)

コロナウィルスによって、行事の縮小・中止、遠隔授業から始まった高専生活。特に、この1年は、多くの行事に関わることができ、あっという間でした。国際寮やインターンシップ、編入学試験といった高専ならではの体験もたくさんできました。レポートに製図と大変なことも多くありましたが、同じ思いを共有する仲間のおかげで乗り越えることができたと思っています。どんなときも快く対応してくださった先生方、応援してくれた家族、そして、そばで支えてくれた仲間感謝しています。本当にありがとうございました。

卒業して青森を離れることにはなりますが、ここで過ごした時間は変わりません。またいつか、成長した姿で再会できることを、願っております。

1. 令和6年度進路状況 ※R7.2.28時点

今年度の本科卒業生の進路は、就職49%（昨年度50%）、進学47%（昨年度44%）となりました。専攻科修了生は、就職41%（昨年度33%）、進学50%（昨年度58%）となりました。本科は昨年度と同様な割合になり、コロナ禍を越えて「就職：進学≒50：50」で落ち着いたようです。

本科に対する求人数は2,216件（昨年度2,711件）、専攻科では2,093件（昨年2,606件）と2割減少しました。求人倍率は、本科28倍、専攻科230倍と相変わらず高倍率ですが、各校に求人を出さずにマイナビなどの就職情報サイトで一括して採用活動を行う企業が増えているようです。一方、地元企業は本校に求人を出している場合が多いので、本校就職情報検索システムや企業内容説明会を活用して情報収集をして下さい。

次ページの進路先一覧から分かるように、各コースの進路先は様々です。就職の場合、4月年度初めで1/3の学生が内定を得て、5月末には8割の学生が進路を決定していました。進学の場合は、編入学の場合は“数学”の力が合否に大きく関与したようです。高専の数学の授業はエンジニア養成のために設定した内容です。大学への進学レベル（＝研究者の卵レベル）に達するには、より高難度の問題が解ける学力が必要とされます。編入学試験とは大学での研究対応力の確認ですので、志望大学の合格を勝ち取るためには、遅くとも3年末春休みから編入学に向けた準備を始めましょう。

専攻科生の場合は、これまで通り難関大院に挑んでもらいたいところですが、大学院によっては冬に2次募集を行うところもあります。保険となる滑り止めの受験先も用意しておくことと心強いことでしょう。

2. 進路情報

企業や大学の高専生への評価は高く、多くの企業・大学から誘いが来ています。しかし、就職の場合では、「インターンシップに参加した学生に声をかけてもいい」と明文化されてから「インターンシッ

プ参加≒採用」という構図が強くなってきていると感じます。インターンシップの応募は4年春がピークですので、自分の興味のある分野や業種を3年末までにある程度絞っておきましょう。また、就職・進学のどちらも、面接試験が主体となってきている現在、自分の考えをしっかりと言語化し明確に伝える力が重要になります。授業中のグループワークや課外活動、友達との日常等々、様々なシーンで「会話する」ということを心がけてください。

3. キャリアセンターの活用

今年度も昨年度同様、キャリアセンターでは学年ごとにキャリアに関する様々な講座を開催しました。進学予定者報告会、各大学説明会では3年生全員を参加対象にしていますが、コースによっては半数近くが欠席するといったことがありました。講座は4、5年次に円滑に進路を決める“準備”として開催しています。そのため、講座をサボると5年次に実際の動き方が分からないため全体の流れに乗れず、最後まで進路が決まらないハメに陥ります。そして、5年という自身の将来に向けて自分の責任で進路を決定しなければならない時期には、学校がサポートできることはすでになくなっていきます（せいぜい、自己PR文の添削や面接練習くらい）。参加必須とされた講座には興味の有無に関わらず必ず参加のこと。

低学年の方へ。まだ進路と言われてもピンと来ないかと思いますが、図書館には、「大学情報書籍」や業界地図などの「企業情報誌」を入れています。編入学受験用参考書もあります。基本、貸出禁止ですが、まずは来館して一読し情報収集に取り掛かってください。なお、貸出可の書籍でも共有物ですので長期間借り続けることのないように。

最後に、来年度も「進路参考資料」を春学期中に全員に配布します。今年度、私に寄せられた進路に関する質問の多くはこの冊子に記載したことでした。大事な自分の将来のことです。ご家族一緒に熟読し、進路について話し合ってくれれば嬉しいです。

令和7年2月28日現在

本 科 産業システム工学科	卒業予定者			進学者 (大学・専攻科)			就職者			その他			求人数 人	求人 倍率 倍
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
機 械 ・ 医 工 学 コ ー ス	33	6	39	10	4	14	21	2	23	2	0	2	633	27.5
電 気 情 報 工 学 コ ー ス	36	8	44	20	2	22	15	6	21	1	0	1	655	31.2
マテリアル・バイオ工学コース	18	16	34	11	10	21	6	6	12	1	0	1	438	36.5
環境都市・建築デザインコース	28	13	41	13	4	17	14	8	22	1	1	2	490	22.3
計	115	43	158	54	20	74	56	22	78	5	1	6	2,216	28.4

専 攻 科 産業システム工学専攻	修了予定者			大学院進学者			就職者			その他			求人数 人	求人 倍率 倍
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
機械システムデザインコース	4	1	5	1	0	1	3	1	4	0	0	0	599	149.8
電気情報システム工学コース	3	2	5	1	1	2	2	1	3	0	0	0	619	206.3
マテリアル・バイオ工学コース	6	2	8	6	1	7	0	0	0	0	1	1	409	-
環境都市・建築デザインコース	2	2	4	1	0	1	1	1	2	0	1	1	466	233.0
計	15	7	22	9	2	11	6	3	9	0	2	2	2,093	232.6

令和6年度 就職先・進学先一覧

令和7年2月28日現在

【就職－本科】

就職先	所在地	M	E	C	Z	計
artience株式会社	東京都	0	0	1	0	1
アイ・システム株式会社	東京都	0	1	0	0	1
青い森鉄道株式会社	青森県	1	0	0	0	1
あおみ建設株式会社	東京都	0	0	0	1	1
青森県	青森県	0	0	0	1	1
曙ブレーキ工業株式会社	東京都	1	0	0	0	1
朝日インテック株式会社	愛知県	1	0	0	0	1
旭化成株式会社	東京都	1	0	0	0	1
ヴェオリア・ジャパン合同会社	東京都	1	0	0	0	1
NECファシリティーズ株式会社	東京都	0	0	0	1	1
ENEOS株式会社中央研究所	東京都	1	0	0	0	1
エプソンアトミックス株式会社	青森県	1	0	1	0	2
株式会社MBM	千葉県	0	1	0	0	1
株式会社オーディオテクニカ	東京都	0	1	0	0	1
株式会社カネカ	東京都	0	0	1	0	1
川崎重工株式会社	東京都	1	0	0	0	1
キャノン株式会社	東京都	1	0	0	0	1
極東興和株式会社	東京都	0	0	0	1	1
株式会社クレハ	東京都	0	0	1	0	1
国土交通省関東地方整備局	東京都	0	0	0	2	2
コスモ工機株式会社	秋田県	1	0	0	0	1
五洋建設株式会社	東京都	0	0	0	1	1
サントリーホールディングス株式会社	東京都	0	0	3	0	3
株式会社サンライズ・エー・イー	青森県	0	2	0	0	2
JFEエンジニアリング株式会社	神奈川県	0	1	0	0	1
株式会社シマノ	大阪府	1	0	0	0	1
シャープ株式会社	大阪府	0	2	0	0	2
株式会社ジーンズ	東京都	1	0	0	0	1
住友不動産株式会社	東京都	0	0	0	1	1
第一三共ケミカルファーマ株式会社	東京都	0	0	1	0	1
第一三共バイオテック株式会社	埼玉県	0	0	1	0	1
大日精化工業株式会社	東京都	0	0	1	0	1
電源開発株式会社	東京都	1	0	0	0	1
東京エレクトロン株式会社	東京都	0	1	0	0	1
東京ガスネットワーク株式会社	東京都	0	0	0	2	2
東京水道株式会社	東京都	1	0	0	1	2
東京電力ホールディングス株式会社	東京都	0	1	0	1	2
東芝プラントシステム株式会社	東京都	1	0	0	0	1
株式会社ニコン	東京都	1	0	0	0	1
株式会社日立ハイシステム 21	神奈川県	0	1	0	0	1
日信電子サービス株式会社	東京都	0	1	0	0	1
日本原子力発電株式会社	東京都	1	0	0	0	1
日本原燃株式会社	青森県	0	1	0	0	1
株式会社日本サーキット	神奈川県	0	1	0	0	1
日本ゼオン株式会社	東京都	0	0	1	0	1
日本ノーディングテクノロジー株式会社	東京都	0	0	0	1	1
株式会社ネクスコエンジニアリング東北	宮城県	0	1	0	0	1
ネクステージグループホールディングス株式会社	東京都	0	1	0	0	1
長谷川体育施設株式会社	東京都	0	0	0	2	2
八戸市	青森県	0	0	0	1	1
八戸セメント株式会社	青森県	0	0	1	0	1
株式会社パトリオット	千葉県	0	1	0	0	1
浜松ホトニクス株式会社	静岡県	1	0	0	0	1
東日本高速道路株式会社	東京都	0	0	0	1	1

就職先	所在地	M	E	C	Z	計
東日本旅客鉄道株式会社	東京都	0	0	0	3	3
富士電機株式会社	東京都	1	0	0	0	1
富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	東京都	1	0	0	0	1
本田技研工業株式会社	東京都	1	0	0	0	1
前田道路株式会社	東京都	0	0	0	1	1
マブチモーター株式会社	千葉県	0	1	0	0	1
三菱ガス化学株式会社	茨城県	0	1	0	0	1
三菱地所コミュニティ株式会社	東京都	0	0	0	1	1
ムラテックCCS株式会社	愛知県	1	0	0	0	1
株式会社メイテックフィルダーズ	東京都	0	1	0	0	1
メタウォーター株式会社	東京都	1	1	0	0	2
計		23	21	12	22	78

【進学－本科】

進学先	M	E	C	Z	計
[大学] 室蘭工業大学	0	0	0	1	1
岩手大学	1	3	0	2	6
東北大学	1	0	1	0	2
秋田大学	0	1	0	0	1
筑波大学	0	1	0	0	1
宇都宮大学	1	0	1	2	4
群馬大学	0	1	1	0	2
東京科学大学	0	0	2	1	3
横浜国立大学	0	1	0	1	2
長岡技術科学大学	2	2	1	1	6
金沢大学	1	0	1	0	2
山梨大学	0	0	0	1	1
信州大学	0	1	0	0	1
豊橋技術科学大学	1	2	2	1	6
京都工芸繊維大学	0	0	0	1	1
秋田公立美術大学	0	0	0	1	1
東京工科大学	0	0	1	0	1
金沢工業大学	1	0	0	0	1
姫路獨協大学	0	0	5	0	5
[専攻科] 八戸高専専攻科	6	7	6	5	24
函館高専専攻科	0	3	0	0	3
計	14	22	21	17	74

【就職－専攻科】

就職先	所在地	AM	AE	AC	AZ	計
アマゾンジャパン合同会社	東京都	0	1	0	0	1
MHIエアロスペースシステムズ株式会社	愛知県	1	0	0	0	1
オリンパス株式会社	東京都	1	0	0	0	1
キャノンメディカルシステムズ株式会社	栃木県	0	1	0	0	1
シャープ株式会社	大阪府	1	0	0	0	1
株式会社東北建築センター	宮城県	0	0	0	1	1
浜松ホトニクス株式会社	静岡県	1	0	0	0	1
株式会社 FIXER	東京都	0	1	0	0	1
文部科学省	東京都	0	0	0	1	1
計		4	3	0	2	9

【進学－専攻科】

進学先 (※予定者を含む)	AM	AE	AC	AZ	計
[大学院] 東北大学大学院	1	1	5	1	8
東京大学大学院	0	0	1	0	1
東京科学大学大学院	0	0	1	0	1
お茶の水女子大学大学院	0	1	0	0	1
計	1	2	7	1	11

卒業研究テーマ一覧表

【機械・医工学コース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
浅木 慎之介	集束超音波治療装置の基礎加温特性評価	井関 祐也
阿部 佑	水溶性粒子を用いたアプレシブウォータージェット切断面縞状粗さの波長解析	沢村 利洋
阿部 祐輔	パーキンソン病の振動療法に関する研究	黒沢 忠輝
井阪 凜太郎	カメラ画像と機械学習を用いた持ち上げ動作の識別	北川 広大
石川 裕大	単一慣性センサを用いた介助動作の体幹角度計測における精度評価	北川 広大
今泉 星南	自助箸のジョイント位置が食材の運搬動作に及ぼす影響	北川 広大
小笠原 大翔	超音波振動援用ドリル加工におけるホルダーホーンがバリ高さに与える影響	田口 恭輔
川原 彰太	レーザーシートを使った噴霧の可視化における輝度向上方法の提案	沢村 利洋
河村 流輝	超音波振動援用多段速度加工におけるバリ抑制メカニズムの解明	田口 恭輔
木村 廉	トポロジー最適化による生体内血管形状の予測(二次元モデルによる試み)	森 大祐
佐々木 優之介	機械要素の使い方を学べる教材の試作	村山 和裕
下柘栲 弘大	Deep Learningを用いた血流予測の可能性に関する研究	森 大祐
須郷 義仁	ドライサウン室内内部の温度計測の評価と三次元解析モデルによる解析	古川 琢磨
傳法 朔矢	超音波振動援用ドリル加工におけるパニング加工面がバリ抑制に与える影響	田口 恭輔
中野 春葉	BOS法による水平加熱壁面からの上昇ブルームの可視化	古川 琢磨
夏井 天夢	放射率が大きく異なる面の隣接が自然対流に与える影響の評価	古川 琢磨
庭田 成	冠動脈プラーク形状が血流に及ぼす影響	森 大祐
根城 仁基	エコランカー用エンジンのCN燃料対応	村山 和裕
早野 碧海	ガードヒーター型サーミスタプローブによる多層皮膚モデルの血管の影響解析	井関 祐也
福士 颯汰	パーツ交換により多様な気流生成を可能とする小型風洞の製作	沢村 利洋
盛 晟鷹	局所領域加温時における生体内温度分布計測の検討	井関 祐也
山本 直弥	数値流体力学を用いた呼吸時の肺胞内気流の解析(各種特発性間質性肺炎の特性評価)	森 大祐
渡辺 歩	バリの耐久評価	田口 恭輔
イ ト	シュリーレン法によるHIFU音場計測との比較解析:水中伝播とアクリル界面との相互作用	井関 祐也
上長根 海斗	蛇型ロボットの昇段動作の確立	郭 福会
川村 心悟	GazeboとROSを利用したロボット歩行シミュレーション環境の構築と実装	郭 福会
高坂 吏輝	軟性膝装具における支柱の有無が走行動作に及ぼす影響	北川 広大
坂田 明優	パーキンソン病の振動療法に関する研究	黒沢 忠輝
佐々木 穂南	筋固縮定量評価装置の開発	黒沢 忠輝
沢田 咲樹	大強度陽子ビーム窓材への適用を目指したTi-15-3合金の高温圧縮特性評価	古谷 一幸
関野 広大	エコランカー用エンジンのCN燃料対応	村山 和裕
富岡 桔平	共振現象を利用した超高サイクル疲労試験装置の評価	武尾 文雄
西野 陽希	変形する気泡の3Dモデリングのための撮影画像からの気泡輪郭抽出	沢村 利洋
橋本 采弥	筋固縮定量評価装置の開発	黒沢 忠輝
浜谷 香璃	鉄基低放射化高エントロピー合金の高温圧縮挙動の初歩的検討	古谷 一幸
林 明里	災害現場で活躍できる4足歩行ロボットの改良	郭 福会
細川 知哉	共振現象を利用した超高サイクル疲労試験装置の評価	武尾 文雄
山田 道大	温度差の激しい環境での血圧変動の計測とその予測可能性の評価	古川 琢磨

【電気情報工学コース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
大高 流 玖	室温変化を考慮したmK精度温度計測	野中 崇
大向 博士	負荷一定制御によるワイヤレス給電用デモシステムの効率向上	野中 崇
川向 雄一郎	熱パルスによる加熱時応答を用いた初期皮膚がん診断方法の確立	野中 崇
三浦 倅祈	可搬型太陽光発電パネルの設置支援システム用自動測定装置の開発	野中 崇
石戸 諒汰	姿勢推定と音声・CO2測定空間モニタリングIoTシステムの試作	細川 靖
小笠原 ゆい	プログラミング初学者向け自律走行ロボット教材の試作と評価	細川 靖
中村 亮太	水導電筆と筆跡モデルを用いた仮想書写学習支援システムに関する研究	細川 靖
田中美来	海女仮想体験システムにおける海産物3Dモデル性能と感性的評価に関する研究	細川 靖
柳沢 優樹	M5StickC Plusモジュールを用いたトラッキングシステムに関する研究	細川 靖
荒沢 諒介	Node-REDによる環境モニタリングシステムの開発	秋田 敏宏
鳥谷部 聖斗	BLEビーコンを用いた在室確認システムの開発	秋田 敏宏
春日 亮太郎	YOLOによるPETボトル廃棄支援用モデルの開発	秋田 敏宏
甲地 那哉	RESASを活用した地域観光振興の一検討	秋田 敏宏
袴田 椋太	MRTK3を使用したHoloLens 2上での学習支援システム開発	秋田 敏宏
柳町 海斗	Autawareによる自律移動の実装に関する研究	秋田 敏宏
福士 大和	ダブルホロー陰極構造による擬火花放電プラズマの高密度化の検証	鎌田 貴晴
須崎 新大	電磁界解析ソフトCSTによる電界および粒子計算とPSDプラズマの電子温度計測	鎌田 貴晴
木村 友香	アセチレンを用いた擬火花放電プラズマCVD法によるDLC膜の各成膜条件の影響 - 硬度・成膜速度 -	鎌田 貴晴
島山 優斗	擬火花放電プラズマCVD法で成膜したDLC膜のラマンスペクトル分析 ~基板電圧・位置・温度の影響~	鎌田 貴晴
佐藤 妃優	プラズマ処理によるそばもやしの発芽と成長に与える影響	鎌田 貴晴
佐藤 夢華	FPGAによる高電圧半導体スイッチおよびモーターの制御システムの構築	鎌田 貴晴
中林 磨瑠久	半導体スイッチを用いた高電圧パルス電圧発生器の試作	鎌田 貴晴
小笠原 悠吏	全方向から連結可能な自己組織ロボットの開発	赤川 徹朗
中野井田 登大		
岡村 一矢	バイラテラル制御に基づく模倣学習における誤差取得手法の検証	赤川 徹朗
田頭 佑修		
久保沢 春斗	授業中の学生の様子から授業理解度の推測	赤川 徹朗
古田 晃一郎	VRによる直感操作に基づくカードゲーム対戦システムの開発	赤川 徹朗
川戸 隆聖	ねじれ二層グラフェンの作製方法の確立	中村 嘉孝
佐々木 翔平	高品質グラフェンの形成のための触媒金属Cu(111)基板の作製	中村 嘉孝
長根 沙良	スパッタリング法による六方晶窒化ホウ素h-BNの作製法の検討	中村 嘉孝
市川 怜司	プラズマCVDを用いた六方晶窒化ホウ素h-BNの作製条件の推定	中村 嘉孝
元沢 紘基	真空熱CVD法によるMoS2二次元半導体の合成	中村 嘉孝
夏林 純英	星座自動検出プログラムの開発	釜谷 博行
三上 朝陽	物体配置の変化検知を目的とした3次元点群データ解析	釜谷 博行
熊野 創太	動的物体の検出と除去を組み合わせたSLAMによる地図作成	釜谷 博行
ジエ ョット	手の形状ベクトルデータを使用した機械学習によるタイ手話認識ソフトウェアの開発と評価	釜谷 博行
中嶋 晃大	YOLOを用いた物体検出による歩行支援システムの開発	釜谷 博行
真琴 雅翔	自然言語処理モデルを用いた図形生成による学習用ツールの開発	釜谷 博行
中山 嵩太	DeepNashを用いたクーンポーカーAIの性能評価	釜谷 博行
田中 裕也	GPS測位における相対論的補正の評価	水野俊太郎
田中 葉琉	天体環境の究明におけるデータソニフィケーションの有用性	水野俊太郎
古館 ことは	持ち運び可能な太陽高度に基づくソーラーパネル角度自動調整装置の開発	長谷川耕平
上町 優輝	小規模独立型太陽光発電システムの実用性評価	長谷川耕平

【マテリアル・バイオ工学コース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
赤田 健介	PVCの親水性改質に適したポリオキサソリンテレレックスの検討とグラフトPVCの物性評価	佐藤 久美子
秋元 爽良	アーク放電による炭素材料合成に及ぼす放電時間と金属基板の影響	齊藤 貴之
内山 歩音	Mechanisms of phenyl hydroquinone-induced cytotoxicity in human lymphoblastoid TK6 cells	山本 歩
雄鹿 優太	コークス共存下における酸化鉛原料の流動挙動	丸岡 大佑
柿崎 元徳	Cytotoxicity and genotoxicity of marine-derived compounds in p53-mutated human lymphoblastoid WTK-1 cells	山本 歩
木村 伯	チタン酸リチウムの固相合成と電極表面反応解析	門磨 義浩
熊野 芳香	再構築法によるMg-Al系層状複水酸化物へのフェニルアラニンのインターカレーション	佐藤久美子
杉保 仁斗	液液界面における介在物捕捉挙動に関する水モデル実験	新井 宏忠
鈴木 涼太	マンガンをチタン系酸化物の合成と電極反応解析	門磨 義浩
瀧田 澄怜	Discrete Element Method and Computational Fluid Dynamics on crystallization process in supercritical water	本間 哲雄
中村 ことみ	高リン含有産業廃棄物リサイクルに向けたりチウムイオン二次電池用電極材料の合成	門磨 義浩
橋本 樹	Effect of operating parameters on chemical recycling of laminated plastics in subcritical water.	本間 哲雄
畠山 妃菜	超音波による有機物の分解方法の検討	齊藤 貴之
畑山 瑠衣	製鉄用原料の還元に関する検討	丸岡 大佑
林 研樹	リン含有産業廃棄物由来のリン酸鉄系電極材料の合成と電極特性	門磨 義浩
り 一	Transforming agricultural waste from Aomori prefecture into sustainable cellulose-based fillers for polyamide biocomposites	佐藤久美子
大山 心夏	金属粒子分散AI2O3複合セラミックスにおけるき裂消滅挙動におよぼす焼結助剤の影響	丸岡 大佑
北上 快	Terminal velocity of aggregate particles	新井 宏忠
木村 友南	Analysis of DNA damage repair mechanism of Rapanone from <i>Comarus rubber</i> .	川口 恵未
工藤 真綾	青森県産アイ・夏秋イチゴからの酵母の分離と発酵適性解析	山本 歩
極壇 美空	Investigation of the active site of Rapanone in the DNA damage repair ability.	川口 恵未
関 智朗	Effect of carbonate on dibutyl phosphate (DBP) decomposition in alkaline waste liquid using a batch-type reactor	本間 哲雄
平 開斗	超音波による有機物分解に及ぼす添加剤の影響	齊藤 貴之
高崎 美羽	Effect of benzoquinone structure on insulin resistance suppression.	川口 恵未
高橋 凜	黄色ブドウ球菌に対する微生物由来抗菌物質の探索	金子 賢介
田沼 匠	マイクロバブルを用いたマンガンをコバルト系酸化電極材料の組成依存性	門磨 義浩
田畑 尚大	ヒノキチオール認識機能を有するインプリント高分子膜の調製とその吸着特性	菊地 康昭
繫 光穂	縄文時代の地層から分離された野生型酵母の特性解析	山本 歩
長根 充貴	Iron carbonate precipitation for CCS technology	本間 哲雄
沼田 春海	緑膿菌と薬剤耐性大腸菌に対する土壌微生物由来抗菌物質の探索	金子 賢介
畑中 悠亜	コロニー形状などの表現型に着目した土壌微生物由来抗菌物質の探索	金子 賢介
濱田 彩乃	グラム陰性菌・陽性菌双方に抗菌活性を示す微生物由来抽出物の探索	金子 賢介
古田 耀	ニンニク廃棄部位を原料とするセルロースハイドロゲルの調製とその特性	菊地 康昭
八木田 光冴	フラレン合成に及ぼすアークエネルギー量の影響	齊藤 貴之

【環境都市・建築デザインコース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
内海 拓人	繰返し中空ねじり試験によるB値と圧密履歴の違いが粒砂7号の液状化に及ぼす影響	清原 雄康
大石 凌空	山村地域での災害発生時における迂回路の道路代替評価～令和3年風間浦村豪雨災害の事例～	重 浩一郎
大橋 建斗	しらす盛土の降雨時浸透挙動と保水性の違いが不飽和浸透挙動に及ぼす影響	清原 雄康
小倉 一真	新たに開発した繰返し一面せん断試験装置を用いたしらす土粒子集合体の摩擦特性	清原 雄康
川原田 鈴	移流拡散反応方程式のSUPG法とCPG法の組み合わせによる安定化	丸岡 晃
川村 碧空	Ansys Fluentを用いた複数の乱流モデルによる数値流体解析	丸岡 晃
川守田 椋亮	塩素消毒による抗生物質耐性大腸菌の薬剤耐性数別の不活化効果の検討と不活化曲線の作成	李 善太
蒔井 遊翔	着床式洋上風力発電モノパイル基部における洗掘に関する模型実験	南 将人
工藤 大彰	下水処理場の各処理段階における抗生物質耐性大腸菌の存在実態の調査	李 善太
齊下 尊成	下水処理場における薬剤耐性菌感染ファージの実態調査	李 善太
佐藤 瞭	小川原湖流域を対象とした水理現象の再現計算	藤原 広和
嶋守 和夢	ヤマトシジミの貝殻を利用したコンクリートの強度発現の評価	藤原 広和
白井 鈴夏	姉沼川と古間木川の水質調査について	藤原 広和
神 至恩	有限要素法による数値流体解析におけるWALEモデルの導入	丸岡 晃
鈴木 優晟	気候変動を考慮した有義波高の予測	南 将人
須藤 駿太	粒砂7号における過圧密効果が液状化強度特性に及ぼす影響	清原 雄康
高橋 慶	越波式波力発電装置の最適な形状に関する数値計算	南 将人
高間 咲希	気候変動による潮位変化を考慮した波浪場の解析	南 将人
坪 大翔	八戸市立地適正化計画における小地域分析と類似市町村計画との比較	重 浩一郎
中川原 快生	有限要素法による数値流体解析における3Dメッシュの作成	丸岡 晃
長 嶺果歩	小川原湖の水質(塩分)の水平分布について	藤原 広和
中村 胡桃	小川原湖ヤマトシジミのHSIモデルによる生息環境に関する考察	藤原 広和
沼上 和樹	ICカード「ハチカ」のデータを用いた立地適正化計画区域のバス利用者の実態分析	重 浩一郎
深川 佳豊	みちのく潮風トレイル開通5周年の利用動態について～八戸-宮古間の歩行者カウンターデータの分析および事業者インタビューから	河村 信治
向井 葉南	ファージを用いた薬剤耐性菌の除去における最適多重感染度の検討	李 善太
矢神 晴	環境水中における抗生物質耐性大腸菌の実態調査～畜産排水の流入及び降雨による影響～	李 善太
柳澤 太駿	Ansys Fluentを用いた複数の乱流モデルによる数値流体解析	丸岡 晃
山内 魁	2024年東北町の小川原湖周辺の水田における塩害について	藤原 広和
渡辺 杏未華	八戸圏域への風力発電の導入におけるゼロカーボンと地域経済循環に与える影響	重 浩一郎
小沢 孝太郎	歴史的建造物のBIM化過程に関する研究～清水寺観音堂を対象として～	エンケホルワ
川原 彩愛	三沢地域の米軍ハウスの設計・構法の変遷に関する研究	金 善旭
興 紹龍彦	内モンゴルの仏教寺院における大雄宝殿の断面計画および架橋形式について	エンケホルワ
小森 真奈	住宅着工統計調査(2012-2023年度)にみる新築木造戸建住宅の動態	馬渡 龍
佐々木 大輝	建築家・岡山良一(1929-1998)の経歴と建築活動について	馬渡 龍
祐川 和奏	インクルーシブ教育の視点からみた小中一貫教育校の建築計画課題	馬渡 龍
高梨 仁	3次元スキャンを用いた建築物の実測に関する試み	金 善旭
月折 優里明	木造住宅における平成19年と令和6年の能登半島地震被害の比較	金 善旭
槻ノ木澤 匠	歴史的建造物の実測調査に関する研究～清水寺観音堂を対象として～	エンケホルワ
永澤 太智	みちのく潮風トレイル開通5周年の利用動態について～八戸-宮古間の歩行者カウンターデータの分析および事業者インタビューから	河村 信治
長谷川 太一	抗生物質耐性大腸菌に感染するバクテリオファージの塩素消毒耐性の評価	李 善太
平尾 舞佳	設計者の意図を考慮した平面図生成 AIの開発について～エスキス図に基づく CycleGANを用いた平面図生成～	エンケホルワ



専攻科生 祝・修了

専攻科修了おめでとうございます

充実した7年間

専攻科長 丸岡 晃

産業システム工学専攻
環境都市・建築デザインコース2年 今泉 有人

専攻科修了生の皆さん、このたびのご修了、心よりお祝い申し上げます。皆さんが学びを深められた7年間の中には、コロナ禍という未曾有の出来事がありました。社会や生活が大きく変わる中、皆さんが困難に立ち向かいながら、日々努力を積み重ねてこられたことに、心から敬意を表します。そして、2025年1月20日には、共和党のドナルド・トランプ氏が第47代アメリカ大統領に就任し、新たな国際的変化の時代が始まりました。今後、世界がさらに大きく動くことが予想されます。

こうした変化の中で、皆さんが専攻科で培った専門知識や実践力は、重要な基盤となるでしょう。同時に、柔軟な発想と困難を機会に変える挑戦する心を忘れずに歩んでください。変化に対応し、新しい未来を切り開く力を皆さんが発揮されることを、心より期待しています。改めまして、このたびのご修了、誠におめでとうございます。

7年間の高専生活は、信じられないほど一瞬で過ぎ去り、私にとってかけがえのない学びと成長の場となりました。講義や仲間との日々を通じて、知識や技術だけでなく、人としての成長や協力の大切さを学びました。また、本科から続く研究活動を通じて、国内外の様々な学会に参加する機会をいただき、視野を広げるとともに、専門的な知識を深め、多様な価値観に触れることができました。この7年間で得たものは、私の人生の指針となる大きな財産です。ここまで歩んでこられたのは、先生方の手厚いご指導や仲間たちの支え、そして家族や周囲の方々の温かいサポートのおかげだと深く実感しています。私はこれから新たな道へ進みますが、高専で培った知識と経験を糧に、感謝の気持ちを胸に歩み続けます。多大なご支援を賜りました皆様心から感謝の意を表します。ありがとうございました。

専攻科特別研究発表会表彰者



研究活動を通じて

産業システム工学専攻
環境都市・建築デザインコース2年 今泉 有人

この度は、専攻科特別研究最終発表会にて最優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。4年間にわたる研究活動の集大成と言える発表会で最優秀賞に選ばれたことを大変嬉しく思うとともに、誇りに思います。昼夜問わず研究を行い、論文に追われ、非常に大変な思いもしましたが、指導教員をはじめ、同研究室の仲間や企業の方のご支援によりここまで研究を続けてくることが出来たと思います。ありがとうございました。今後は大学院や企業でさらに高度な研究と向き合うことになると思いますが、高専での研究活動で得た経験を糧に、さらに自分自身を高めていくことが出来るように努めてまいります。



研究活動より愛を込めて

産業システム工学専攻
機械システムデザインコース2年 田中 天統

この度は、専攻科特別研究発表会にて優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。7年間に渡る長い高専生活の締めくくりとして、このような賞に選ばれたことは、私の誇りです。また、自身の研究に対するこれまでの努力や発表会での積極性が実を結んだことを大変嬉しく思います。今後もこのような姿勢を忘れず、新社会人として社会に貢献できるよう、精進してまいります。そして、手厚い研究指導をしていただいた古川先生をはじめとする多くの先生方、つらい時に自身を支えてくれた研究室のメンバーやクラスメイト、そして何よりも家族に、「ありがとう」と「大好き」を伝えたいと思います。



研究者としての最初の一步

産業システム工学専攻
マテリアル・バイオ工学コース2年 上平 匠真

この度、専攻科特別研究発表会にて優秀賞をいただき、大変光栄に存じます。本科5年から研究活動が本格的に始まり、約4年が経ちました。当時は、研究に対して良いイメージはありませんでしたが、今はたくさん語ることができます。

研究とは「社会課題に対して新規性を明確にし、その新規性を保証するための実験である」と感じています。その研究の楽しさをご教授頂いた本間先生、発表練習や添削をしてくださった研究室メンバー、高専7年間を支えてくださったクラスメイトや家族には感謝してもしきれません。専攻科卒業後は、大学院へ進学しますが、研究者としての初心を忘れずに研究活動に尽力して参ります。

令和6年度 八戸工業高等専門学校 専攻科特別研究テーマ一覧表

【機械システムデザインコース：AM】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
淡 路 侑 香	三次元伝熱解析によるストーン含有型サウナストープの評価 Evaluation of Stone-containing Sauna Stoves Using Three-dimensional Heat Transfer Analysis	古川 琢磨	
小笠原 照 悟	背景型シュリーレン法を用いた鏡面加工された加熱壁面近傍の3次元密度分布の可視化計測の検討 Investigation of Visualized Measurement of Three-Dimensional Density Distribution Near a Mirror Finished Heated Wall Surface Using the Background Schlieren Method	古川 琢磨	
佐々木 瑞 貴	生体内部構造の検出を目的とした新規熱センサーの開発 Development of a Novel Thermal Sensor for Detection of Internal Biological Structures	井関 祐也	
田 中 天 統	レーザー熱治療下における人体皮膚組織の加熱制御の検討 Investigation of Heating Control of Human Skin Tissue Under Laser Thermal Treatment	古川 琢磨	特別研究 優秀賞
前 田 竜 汰	バイメタルを用いた新規針状電極加熱装置の実験的検討 Experimental Examination of a Novel Needle Electrode Heating System Using Bimetal	井関 祐也	

【電気情報システム工学コース：AE】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
川 村 滯 渉	3DCGエンジンを用いた仮想海底空間構築に関する研究 A Study on Virtual Seafloor Space Construction Using 3DCG Engine	細川 靖	
工 藤 温 紀	有機半導体材料を用いた共蒸着膜の結晶構造調査 Investigation of the Crystal Structure in Organic Co-deposited Films	中村 嘉孝	
新 田 彩 奈	技術・家庭科における教材共有によるプログラミング出前授業に関する研究 Study on Programming Visiting Classes Using Shared Materials in Technology and Home Economics	細川 靖	
三 上 うらら	熱パルスレーダーを用いた有効熱伝導率測定による皮膚がん診断法の開発 Development of Skin Cancer Diagnostic Device by Measuring Effective Thermal Conductivity Using Thermal-Pulse Radar	細川 靖	
山 一 真 也	POMDP環境のためのTransformerを用いた強化学習 Reinforcement Learning With Transformer for POMDPs	釜谷 博行	

【マテリアル・バイオ工学コース：AC】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
上 平 匠 真	亜臨界水での多層プラスチックの半回分式ケミカルリサイクルと分解予測モデリング Chemical Recycling and Decomposition Modeling for Multi-layer Plastics in Subcritical Water by a Semi-batch Type Reactor	本間 哲雄	特別研究 優秀賞
佐 藤 匠 哉	多脂環構造酸二無水物 CpODA を用いた無色透明ポリイミドの合成と特性 Synthesis and Properties of Colorless Polyimides Derived from Polyalicyclic Dianhydride, CpODA	菊地 康昭	
佐 藤 春 陽	ガス攪拌槽における液液界面の物質移動解析 Mass Transfer Analysis at Liquid-Liquid Interface in Gas-Stirred Vessel	新井 宏忠	
鈴 木 清 太	ヒト大腸がん細胞 COLO201 を用いた海洋生物由来化合物のがん細胞増殖抑制活性評価 Evaluation of Cytotoxic Activities of Compounds from Marine Organisms in Human Colorectal Adenocarcinoma Cell Line COLO201	山本 歩	
高 木 幹 太	縄文時代地層から単離した酵母の醸造特性解析 Analysis of Joumon Yeast from Sannai-Maruyama Ruins	山本 歩	
根 城 響 子	Auめっきプロセスにおける無電解Niめっき皮膜特性に関する検討 Examination of Electroless Ni Plating Film Characteristics in Au Plating Process	新井 宏忠	
類 家 忠 大	アーク放電を用いたフラーレン合成法の開発 Development of Fullerene Synthesis Using Arc Discharge	齊藤 貴之	
テ ン メ ー	カシスアントシアニンの光老化抑制効果について Anti-photoaging Effects of Blackcurrant Anthocyanins on UVB-Irradiated TK6 Cell	山本 歩	

【環境都市・建築デザインコース：AZ】

学生氏名	テ ー マ	指導教員	備 考
今 泉 有 人	放射性廃棄物最終処分場の実装に向けた高吸着材料の物性評価と移流拡散予測 Physical Properties Evaluation to High Adsorption Material and Prediction of Advection-Diffusion in Final Disposal Facility for Radioactive Waste	清原 雄康	特別研究 最優秀賞
葛 西 綾 乃	建築確認申請書にみる青森県の新築戸建住宅における建築規模の動向 Building Scale of Newly Built Detached Houses of Aomori in the Building Certification Application	馬渡 龍	
豊 坂 雄 斗	波力発電装置の高効率化を目指した形状の検討 Wave Power Generators for Higher Efficiency by Geometrical Examination	南 将人	
ビ ー ム	青森県北津軽郡中泊町における繁柱式板倉の建築的特徴と分布 Architectural Characteristics and Distribution of Multi-Pillar-Style Storehouses in Nakadomari, Kitatsugaru, Aomori Prefecture, Japan	馬渡 龍	

就職・進学体験記

就職活動体験記

電気情報工学コース5年 **大向 博士**
(八戸市立東中学校出身)

私は電気情報工学コースで学んだことを活かせる企業に就職したいと考えていました。3月まで具体的な志望先を決められずにいましたが、企業説明会に参加した際、自分の将来の働き方について深く考えるきっかけを得ました。その中でも、株式会社ネクスコエンジニアリング東北が求める働き方と合っていると感じ、第一志望としました。就職活動を通して、最も大切だと感じたことは「自分自身を知ること」です。自己分析を行うことで、自分のやりたいことに合う企業や今の自分でもできる最適を見つけることが出来たと思っています。

就職活動は迷うことも多いですが、自分を知ることによって後悔のない選択ができると思います。これから就職活動を迎える皆さんも、自分と向き合う時間を大切にし、納得のいく決断をしてください。応援しています！

専攻科受験体験記

マテリアル・バイオ工学コース5年 **内山 歩音**
(おいらせ町立百石中学校出身)

私は産業システム工学専攻マテリアル・バイオ工学コースに合格しました。現在取り組んでいる研究を続けたいことと専攻科への進学を通じて専門知識や技術力を深化させたいと思い、4年の夏に受験を考え始めました。専攻科の推薦試験を受験するにあたって主にTOEICと面接対策、過去問にとりかかりました。TOEICは早めに取り組み何度も受け、スコアをのばすことが非常に重要だと思います。面接対策は春休み中に複数の先生方にアドバイスをいただき練習を重ねました。過去問も面接練習も繰り返し行うことで精度が上がり、自信にも繋がりました。また、前もって教員に相談することでTOEIC対策も面接練習も指導を受けることができるので早い段階から受験を意識し、行動することが大切だと思います。5年生は実験実習もあり、試験もあるため思っているより受験勉強をする時間がなく忙しいです。余裕をもって受験に挑めるように頑張ってください！

大学編入体験記

環境都市・建築デザインコース5年 **大橋 建斗**
(八戸市立長者中学校出身)

私は横浜国立大学都市科学部の都市基盤学科に学力試験で合格しました。勉強を始める時期は遅く、4年次の冬からTOEIC対策、受験校の数学・専門科目対策を行いました。編入学を乗り越えて最も重要なのは継続力だと考えます。ただ精神的な問題というわけではなく周りの環境や受験校に合格した人の話・体験記を見て自身のモチベーションを維持することが大切だと感じています。例えば、TOEICは早めにやるべきですが、計画的にTOEICを勉強することは難しいです。そこで、まず受験校の情報収集・以前合格した人の情報から具体的な点数の目標設定をしてから勉強すると継続的な学習ができるはずです。また、辛く苦しい時期もあると思うので、受験勉強する友人を見つけ励ましあう事も大切です。継続して欠かさず努力すれば必ず後悔しない結果になると思います。後輩の皆さんを応援しています。

大学院試験体験記

産業システム工学専攻
機械システムデザインコース2年 **前田 竜汰**

私は東北大学大学院の機械系4専攻の推薦入試を受験し、合格しました。入試は7月上旬にあり、4月ごろから本格的な勉強を始めました。試験内容は小論文と口頭試問で、小論文については過去問の傾向を分析し、模擬テーマを設定して実際に書いてみました。そして、戸田山先生に添削していただきました。口頭試問では、専門科目と数学の中から3教科を選ぶ形式でした。私は理論を説明しやすい教科と数学を選び、それぞれの勉強を進めました。この経験を通じて大切だと感じたのは、情報を事前にしっかり収集し、具体的なイメージを持ちながら勉強を進めることです。推薦入試は学力試験とは異なる性質を持っています。単に紙に書けるだけでなく、理論を相手に説明できるようにすることが重要だと思います。また、もし頼れる先輩がいる場合は、遠慮せずたくさん質問することをお勧めします。

インターンシップ

インターンシップを通して

環境都市・建築デザインコース4年 松橋 美月
(八戸市立白山台中学校出身)

私は「無印良品の家」の5日間のインターンシップに参加し、住宅設計に関する業務を体験しました。事業説明では、無印良品の家の理念や特徴だけでなく、住宅業界全体のトレンドや課題について学び、業界研究に大いに役立ちました。また、社員の方々から日々の業務の流れや仕事のやりがい、難しさについて伺い、住宅業界で働く自分の将来像を具体的にイメージする良い機会となりました。

実際の業務体験では、CADを使用して実在する物件を参考に図面を作成し、住宅パースを仕上げる作業を行いました。初めて扱うツールや作業に戸惑う場面もありましたが、大きな達成感を得ることができました。

今回のインターンシップを通じて、住宅設計の楽しさや難しさを実感するとともに、自分のキャリアを考える貴重な経験となりました。

インターンシップを通して

環境都市・建築デザインコース4年 八木橋夏響
(青森市立新城中学校出身)

私は三菱地所コミュニティ株式会社の5日間インターンシップに参加させていただきました。三菱地所コミュニティ株式会社では主にマンションやビルの管理・保守点検を行っており、積算部門や技術部門での実習や現場見学を行いました。

高専出身の社員さんがインターンシップを担当していただき、マンツーマンでお仕事を教えていただく機会もありました。お客さまや協力会社と密接に関わるお仕事であり、高専で学んだ専門知識だけでなく、現場の状況を分かりやすく伝える力も同様に必要だと感じました。八戸高専出身の方ともお話しすることができてとても嬉しかったです。

ハプニングもありましたが、それも含めインターンシップでの経験が自身の成長につながったと感じています。就職活動に向け、インターンシップでの経験を生かしていきたいです。

COMPASS5.0 再生可能エネルギー（風力）分野の取り組みについて

事業リーダー 丸岡 晃

高等専門学校機構では、令和6年度からCOMPASS 5.0（次世代基盤技術教育カリキュラム化）の対象分野に再生可能エネルギー（風力）分野を追加し、函館高専、八戸高専、秋田高専がその拠点校に選ばれました。この分野の追加は、洋上風力を支える産業界からの強い人材育成要請に応え、高専と洋上風力人材育成推進協議会（ECOWIND）の連携が契機となったものです。

最近、青森県で初めて洋上風力事業者が決定し、地域での風力発電開発が本格化しています。この背景のもと、3拠点校は国の省エネ海域利用法に基づく促進区域や有望区域に近接する地理的特性を活かし、人材育成プログラムの策定を進めています。

八戸高専では、自主探究を教育の柱とする独自カリキュラムに再生可能エネルギー関連科目を組み込み、教育の相乗効果を目指しています。在学学生には、再生可能エネルギーの重要性への理解を深め、自身の学びやキャリアの選択肢を広げて

もらいたいと考えています。具体的な取り組みとして、以下の3点を計画しています。

1. 「エネルギー」をテーマとした自主探究の推進
2. 教員組織「系」の再編

社会や産業界が求める人材育成に応えるため、「エネルギー系」を「再生可能エネルギー系」と名称変更し、教育プログラムの作成に取り組みます。

3. 再生可能エネルギー（風力）関連科目の導入
令和7年度入学生向けの新カリキュラムにおいて、4年生向けに2科目、5年生向けに1科目を追加します。

さらに、地域社会への貢献として、再生可能エネルギーに関する出前授業や公開講座を実施し、産学官連携を深化させたイベントを通じて本校の取り組みを広く発信していきます。

これらの取り組みを通じて、地域と世界をつなぐ次世代の人材を育成し、持続可能な未来の実現に寄与してまいります。

退職するにあたって

感謝・感謝!

武尾 文雄

二人の兄が本校の学生であったため、私は小学生の頃から高専祭や寮祭に来ていましたし、高専のねぶた・ねぶたパレードを三日町で見た記憶もあります。面白そうな学校だなあと感じていたのですが、まさか自分がその教員になるとは夢にも思っていませんでした。

運命的なつながりを感じる八戸高専に昭和59年からお世話になり、早41年。この間、クラス担任や卒研、バレー部、ロボコンなどで数えきれないほどの学生さんと出会うことができ、そこで楽しい思い出は私の人生の宝物です。ここ10年ほどは学科改組やカリキュラム改正、最近では新型コロナ対応などの仕事で、大変貴重な経験をさせていただきました。

素晴らしい学生さんと教職員の皆様のおかげで何とか務めを果たすことができ、無事に定年を迎えることができました。この場をお借りして深く深く感謝申し上げます。ありがとうございました。定年後も八戸高専の応援団として見守っています!

♪もしもピアノが弾けたなら♪

蝦名 謙一

平成元年4月、本校へ体育教員、柔道の先生として赴任し、早36年が過ぎました。お手本を目指し、ここまでやってきましたが、「手本ができなくなりました」ので、定年の年度をもって、定年退職することと致しました。

骨を埋める覚悟で教育にあたり、学生に教えたつもりが教えられ、育てたつもりが育てられ、教職員様にも公私に亘り、大変お世話になりました。

お礼と感謝を申し上げます。

重大な事故対応、熟慮断行しながら、がんばりました。

寮生柔道寒稽古、柔道部寒稽古、コロナ禍により自然消滅、長いことやりました。全国高専大会柔道団体優勝で、OB会長はじめ会員各位と喜び合えなかったことが悔やまれます。とはいえ、スポーツは楽しく! 体育も!

新人体育教員、植村先生、松橋先生を、よろしくお願いします。

柔道の前回り受け身の授業で、手本に、1年生から嬉しい拍手を戴きました。

最後になりますが、ラジオから、タイトルの曲が流れたら、えびけんからあなたに、「励ましキター!」と想ってください。皆様、お元気で!

お世話になり、ありがとうございました。

お世話になりました

馬淵 雅生

平成3年4月、本校に赴任しました。赴任時はまだ20代で、昼休みには体育館で汗だくになって学生とバスケットボールで遊び、午後の授業はジャージのままするというような毎日でした。学生との距離が近すぎて授業では苦勞しました。

研究としては数学教育に関する論文を発表してきました。学会で知り合った方たちと一緒に高専生向けのテキストの編集に関わることができたことは、授業をするうえで非常に役に立ちました。

在職最後の2年間は教務主事を命じられ、人生で一番忙しくなりました。全く、何が起きるかわかりませんね。これまでお世話になった八戸高専に恩返しをするつもりで精一杯働いたつもりですが、どの程度役に立ったのかはわかりません。本校の学生の多くは真面目で向学心があり、楽しく過ごすことができました。本校のみなさんの活躍と幸せを祈っています。

勉強は続くよ、どこまでも

岡田 みゆき

高校時代に下宿生活を送っていた私の夜の楽しみは近くの本屋でマンガを立ち読みすることでした。ある晩、8時を回った頃でしょうか、学校の書道の先生が本屋に入ってきました。「先生、こんばんは。こんなに遅くまで教えていらっしゃるんですか。」と挨拶をした私に先生はほほ笑んで「ふふ、今お稽古の帰りなのよ。」と。「えっ! 先生でもまだお稽古するんですか。」と言ったことを覚えています。体育館に掲げられた「校歌」を書かれるほどの書道の大家です。大人になったら、ましてや教師になったらもう勉強する必要はないんだ、と思っていた私にはかなりの衝撃でした。そして今、やっぱり私もまだ勉強を続けています。どうやらどこまでいっても勉強に終わりはないようです。結構楽しいものなんですね、勉強って。

教務関係のお知らせ

教務主事 馬淵 雅生

○来年度の行事予定について

令和7年度の行事予定は、令和6年度のもの大きくと変わることはありませんが、学生会からの要望を受けて、次の2つのことを変更しました。

- (1) 校内体育大会・校内球技大会において、どちらも予備日を設けることにしました。予定されていた大会の日が悪天候となった場合、その日は授業日となり、大会は翌週の予備日に実施することになります。
- (2) 学生会長選挙日を短縮授業としました。このことにより、立会演説と投票が同時に行われることになります。

学生会から8月上旬を夏季休業として欲しいという要望がありました。地元の夏祭りを楽しみたいというもっともな理由です。これについては、全国高専で海外研修を拡充するという目標が機構本部から出されており、本校ではその目標を達成するために、9月を海外研修可能な期間としています。そのため、夏学期の到達度試験は9月に行うことはできず、来年度も8月上旬での実施となります。どうかご了承ください。

また、4月29日の昭和の日を休日として欲しいという要望が学生からありました。これについて、来年度は、授業参観日を4月19日(土)に実施することで、4月29日を休日にすることにしました。

○授業評価アンケートについて

昨年度から、授業評価アンケートを用紙への記入ではなく、オンラインで実施していますが、学生の回答率がよくありません。このアンケートは、結果が教員の表彰に使用される重要なものです。精度の高いアンケート結果を得るためには、多くの学生に回答してもらう必要があります。学生のみなさん、授業をよくするため、来年度こそアンケートに協力してください。

○不可科目をもって進級する学生へ

来年度、再試験で合格して、未修得科目の単位を回復させましょう。試験の日時と範囲を担当

教員から確認するようにしてください。合格点をとるためには、試験直前に詰め込むのではなく、対策を立てて計画的に準備を進める必要があります。

○原級留置となった学生へ

3月中に、現担任と来年度の履修計画を立ててください。4月の始業式の日、新任と履修科目を確認して履修届けを出すことになります。自主探究は必ず履修しなければならないので、記入忘れがないようにしてください。

○数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)について

令和3年度入学生から、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)が適用されていますが、新たに令和6年度入学生から、応用基礎レベルのプログラムが適用されることとなります。本校で開講する科目に加えて、高専間単位互換制度を利用して所定の科目の単位を修得すると、修了証が交付されます。詳細は学校のホームページで確認してください。

○令和7年度入学生のカリキュラムについて

在校生のみなさんにはあまり関わりがありませんが、来年度入学する学生のカリキュラムの一部が変更になります。本校では「必修科目」の位置づけが曖昧であったため、これを是正すべく、卒業するためには必ず単位を修得しなければならない科目として「必修科目」が設定されることとなります。これに伴って、進級や再試験に関わる規則の改定も行われます。

○春休みは有意義に

学生のみなさん、1ヶ月にも及ぶ長期の休みは、(日本では)学生時代にしかありません。春休みを楽しく有意義に過ごして、4月からの生活に役立ててください。

厚生補導委員会から

学生主事 菊地 康昭

◆スマホやSNSの利用について

1～3学年の低学年ではスマホ等の携帯端末の使用には規則を設けています。授業中の使用は原則認めておらず、ロッカーにしまうよう指導しています。なお、授業で使用を認めている場合はその限りではありません。また、昼休み時間の使用は認めており、保護者や学校からの連絡を受けられるようにしています。携帯端末は安全に正しく使用すれば役に立つ便利なものですが、長時間使用による生活習慣の乱れや不適切な利用によるネット依存やゲーム依存等の問題も起こりうるものです。また、SNS上での誹謗中傷やいじめ等の学生間トラブル、迷惑行為の写真や動画の投稿が社会的に大きな問題となっています。

今年度は低学年において撮影した画像を無断で使用する肖像権侵害にあたるケースがありました。たとえ友人同士であっても画像情報は一度ネット上に出してしまうとデジタルタトゥーと言われるように、どこかに情報が残って、将来それが悪用される危険性をはらんでいます。学生は十分に気を付けて画像情報等を扱う必要があります。ご家庭でも適切な使い方について引き続きご指導下さるようお願いいたします。

◆学生会活動について

第57回高専祭が10月26日(土)～27日(日)に開催されました。今回も夜祭等では学生のみでの入場にしましたが、全般には一般客も参加できる開催となりました。赤レンガ広場では露店が数多く出店し、多くの来場者で賑わっていました。専門コース展示やクラブの展示ブースでは学生が技術や作品を披露しておりました。また、2年ぶりに行われた花火大会も大いに盛り上がり、多くの学生たちが楽しめた高専祭だったことと思います。

12月1日からは選挙によって新会長となったC4 豊坂 颯斗君のもと、新学生会執行部体制がスタートし、新執行部のもと、朝の挨拶運動やクリスマスイベントが行われました。来年度も学生会と学校が協働しながらイベントや課題に取り組んで参ります。

◆クラブ活動について

クラブ活動は、春・夏・秋学期は16:15～18:15(水曜日及び冬学期は15:00～17:00)の2時間以内、土・日および長期休業中は8:30～17:

00のうち3時間半以内としています。休養日は、平日1日以上、週末1日以上の週2日以上を設定し、祝日は原則休養日といたしました。保護者におかれましてもご理解の上、ご協力をお願いいたします。

◆令和6年度講演会

【性に関する講演会】(1年生)

日時: 令和6年10月1日

講師: あおもり女性ヘルスケア研究所

所長 蓮尾 豊氏

【消費者出前講座】(3年生)

日時: 令和6年11月1日

講師: 八戸市くらし交通安全課

消費者生活相談グループ

主事 横塚琳太郎氏

消費生活相談員 三浦 雅美氏

【交通安全講演会】(3年生)

日時: 令和6年11月8日

講師: 八戸警察署 交通課 安全教育係

警部補 菊池 一雅氏

巡査部長 宮下 幸代氏

【女性のための防犯講座】(1年生及び希望者)

日時: 令和6年11月12日

講師: 八戸警察署 生活安全課 塙 知宙氏

【飲酒運転防止講座】(5年生)

日時: 令和6年12月18日

講師: 八戸モータースクール 安全教育センター

副主査 千葉真紀子氏

八戸警察署 交通課 安全教育係

警部補 菊池 一雅氏

八戸市 市民環境部 くらし交通安全課

副参事 三上 啓司氏



高専祭 打ち上げ花火の様子

北 辰 寮 か ら

新国際寮の完成間近

寮務主事 佐藤久美子

日頃は北辰寮の運営・活動にご協力くださり、有難うございます。厚く御礼申し上げます。

本年度の北辰寮は、コロナ禍の影響から完全に脱却して運営することができました。寮の日課や各委員会担当の行事など、コロナ禍前に戻すことができ、寮生たちもいろいろな活動ができたとうれしく思っております。しかし、寮では集団生活を送るために、この後も引き続き各種感染症には気を付けていきながら、寮生が楽しく過ごせるようにしていきたいと思っております。

本校の国際寮はE、I、N棟の3棟でしたが、いよいよもう1棟、新しい棟が完成します。建物の完成は3月末で、その後は建物内部を整えて、9月末から入居予定です。国際寮棟はこれで合計4棟となります。

今まで、新棟建設の工事のために、寮生や保護者の皆様には多大なるご迷惑をおかけしてきました。ご協力に感謝いたします。工事はもうすぐ終了しますが、本校北辰寮へのご支援・ご理解を来年度も引き続き賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

新総代挨拶

マテリアル・バイオ工学コース4年 神 偉晴
(青森市立荒川中学校出身)

2025年度、新総代となりましたマテリアル・バイオ工学コース4年の神偉晴です。どうぞよろしくお願いします。

寮生活は本当に楽しいです。同じ学校に通う仲間と一緒に寝て、起きて、ご飯を食べ、風呂に入り、同じ生活を送ります。貴重な学生時代に寮生活を送ることは社会に出る上で大きな糧となります。ただ、昨年は寮則違反者が多く見受けられました。この状況が続かないように何かしらの対処をしていかなければと考えています。また、コロナの流行が一旦収まりましたが寮内ではインフルエンザ、マイコプラズマに感染したという報告がいくつかありました。引き続き感染対策もしていただきたいと思っております。昨年度はコロナによる制限がなく、寮行事が活発化し、新イベントも開催されました。今年度は寮祭以外にも盛り上がるイベントを開催したいと考えています。昨年以上に熱く盛り上がりを見せる北辰寮になれば嬉しいです。

寮生が快適かつ楽しい寮生活を送れるよう活動していきたいと思っております。

それでは、1年間よろしく願いします。

新国際棟長挨拶

機械・医工学コース4年 佐藤 壮悟
(三沢市立堀口中学校出身)

2025年度より、国際棟長になりました機械・医工学コース4年の佐藤壮悟です。

国際寮は一般寮とは異なり、留学生と同じ空間で生活することができます。各フロアには団らんできるコモンスペースが設けられており、留学生を含めた同じユニットの仲間と自由に、楽しく交流することができます。ほかの寮生との共同生活に不安や緊張を持つ方もいると思いますが、私自身も昨年度1年間国際寮で過ごして、寮での人との交流が増えてとても快適に過ごすことができました。そのため、今年度国際寮に入寮する方には個室に引きこもり過ぎないように、国際寮の利点をうまく活用してほしいと思っております。

混住型国際寮ということもあって、不安やわからないこともあると思いますが、皆さんが快適に寮生活を送れるように精一杯サポートいたしますので、皆さんも互いにリスペクトをもって、助け合いながら過ごしましょう。1年間よろしく願いします。

新女子棟長挨拶

マテリアル・バイオ工学コース4年 大森 寧水
(平内町立東平内中学校出身)

2025年度の女子棟長を務めさせていただきます、マテリアル・バイオ工学コース4年大森寧水です。至らない点もございますが、寮生の皆さんが心地良く寮生活を送れるように尽力いたします。

親元を離れ、自立した生活を送ることは非常に困難なことです。また、生活習慣の違いや他人との共同生活に悩みを抱えることもあるかと思っております。私自身、4年間の寮生活を経て実感しています。しかし、ネガティブな思考に囚われず、積極的なコミュニケーションをとることで交友関係もどんどん広がっていきます。寮生活とは、社会で必要なことを一歩先に学ぶことができる素晴らしい機会だと思っております。そんな、寮生一人一人の生活が充実し、成長できるような場を作れるように努めていきます。

一年間よろしく願いいたします。

自主探究ポスター発表会

4学期制実施部会 中村 美道

令和7年2月20～22日に自主探究ポスター発表会が実施されました。3年生(20日)、2年生(21日)、1年生(22日)が午前1分間プレゼン、午後ポスターの前で口頭発表しました。22日は1～3年生の国際自主探究32件と、プレ自主探究(令和7年度国際的エンジニア育成特別選抜合格の中学生の探究)16件が加わりました。3日間の発表件数合計は481。保護者の方々に加え、他高専教職員(本部含む)25名、海外来賓14名など多数の方々にご来場いただき、発表審査をしていただきました。

1分間プレゼン会場は記念ホールと合併教室で、各会場とも1クラスずつの入れ替え制。ポスター会場の第1・第2体育館には、各々2クラス分のポスターが掲示され、前半90分と後半90分に分けて1クラスずつポスター前で口頭発表。発表者は教室の各自の机一台をポスターパネル周辺に持ち込み可です。製作物の展示や実演、ノートPCを効果的に使う説明、来場者参加型の公開実験など、工夫溢れる発表で会場全体が活気づいていました。

プレ自主探究3期生の中学生たちは昨年12月から究活動を開始。高専生と同じく、探究テーマを探ることからスタートしました。活動期間は実質2ヶ月程度でしたが、その間、本校のファシリテーター高学年生や、プレ自主探究1期生(現2年生)・2期生(現1年生)の支援を受けつつ、着実に探究を進めました。高専生に見劣りしないポスターを仕上げ、聴講者に対して自分の言葉で丁寧に説明していました。その様子に来場者は驚き、高専生も大変刺激を受けました。入学前に自主探究を経験した同中学生たちは、4月から一緒に入学する自主探究未経験のクラスメートを勇気づけ、牽引するロールモデルとして期待されます。

低学年自主探究活動支援の中心的役割を果たしたファシリテーター高学年生は会場受付や発表管理、誘導・案内等、発表会の運営にも貢献。学生の探究活動を温かく見守り続けていただいた皆様、ポスター発表会にご参加いただいた皆様、実施・運営にご協力いただいた皆様に深く感謝致します。今年度の主な賞の結果は以下のとおりです。



【校長賞】

E 3 林 皇明

【学年最優秀賞】

E 3 林 皇明

C 2 岩澤 朋香

L 4 岩泉 有沙 (C 1)

【国際自主探究最優秀賞】

E 3 マインド

【国際自主探究優秀賞】

E 3 白石 光

【特別賞】

E 3 白石 光

C 2 藤林 輝

L 3 駒沢 誇太郎 (Z 1)

【各学年の優秀賞】

第3学年

E 3 白石 光

M 3 福士 徹真

C 3 大宮 心彩

M 3 山田 朝陽

E 3 赤坂 東真

E 3 マインド

M 3 田中 幸穂

Z 3 橘 薫

E 3 杉本 慎之介

E 3 小野 達希

第2学年

M 2 田澤 諒太郎

C 2 鳥海 ひなた

M 2 下道 冬雅

M 2 古川 玲奈

C 2 海住 漣花

C 2 藤林 輝

M 2 工藤 結葉

M 2 ノーズ

M 2 佐藤 虎雅

Z 2 本間 みち

第1学年

L 4 道合 力丸

L 1 黒岩 航

L 1 畠山 玲音

L 1 小田嶋 優衣

L 3 木村 天音

L 1 亀井 渚

L 4 田中 日菜

L 3 木村 妃希

L 3 駒沢 誇太郎

L 1 相内 春乃

STEAM教育支援センターより

STEAM教育支援センター長 南 将人

本校独自の「自主探究」を導入し、STEAM教育支援センターは3年目となりました。STEAM教育とは、Science:科学、Technology:技術、Engineering:工学、Mathematics:数学の理数教育に、Arts/Liberal:Artsを加えた総合理数教育です。

2024年12月14日に、「こうせん・美術館アートコラボ」を開催しました。7つのステージイベント、10箇所の出前授業体験ブースそして7つの展示コーナーを設けました。八戸市美術館での開催は2年目となりました。当日は約250名の来場者があり、様々なイベントは大変好評でした。



こうせん・美術館アートコラボ (2024/12/14)

また、2024年6月23日に「八戸市少年少女発明クラブ出前授業・高専見学会」を実施しました。体験学習テーマとして「ペットボトル顕微鏡をつくってみよう!」と「流れのふしぎ」の2つに校内見学で修了しました。新たなテーマ提案を頂くと共に、工学への興味を持って頂いた様でした。



八戸市少年少女発明クラブ出前授業

STEAM教育支援センターの活動には、自主探究に関する支援があります。特に、入学前に自主探究を実施しています。

国際的エンジニア特別選抜試験に合格した生徒16名に対してプレ自主探究を行っています。スケジュールと内容は次の通りです。

○第1回：12月7日(土)13時から15時まで

イノベーションハブにて、自主探究・4学期制WG長の中村(美)教授からプレ自主探究についての説明を行いました。

○第2回：12月21日(土)13時から16時まで

13時から、学寮のユニットリーダー、外国人留学生、女子寮生の案内で国際寮を見学した後、14時からイノベーションハブにて、中村(美)教授、丹羽コーディネーターに加え、ファシリテーター2名、プレ自主探究を経験している国際的エンジニア育成特別選抜で入学した学生4名が参加してプレ自主探究の進め方についての相談会を行いました。

○第3回：1月25日(土)13時から14時まで

イノベーションハブにて、第2回と同様の体制で、ポスター発表会に向けて探究の進め方の相談をするとともに、ノート型PCを貸与してパワーポイントの使い方、ポスターの作り方についての説明を行いました。この日は、他高専から7名の教員がプレ自主探究の見学に訪れました。

○第4回：2月22日(月)13時から16時まで

体育館でポスター発表を行うことができました。多数の来場者があり、生徒たちはしっかりと自分の探究を説明していました。

○第5回：3月18日(火)13時から15時まで

イノベーションハブにてプレ自主探究の振り返り会を行います。できたこと、身につけたことだけでなく、できなかったことを振り返ってみることも未来に繋がります。

プレ自主探究に参加した生徒たちは、短い期間でテーマを設定し、探究を行い、ポスター発表までやり遂げました。高学年のファシリテーターと国際的エンジニア育成特別選抜で入学した先輩から、経験に基づくアドバイスをもらったことが、大きな励みになったと思います。入学後の自主探究で、クラスメートを引っ張ってくれることを期待しています。

これら様々な活動を通じて、地域総合理数教育の活性化に繋がる事を目指しています。

国際交流活動：グローバルエンジニア室から

グローバルエンジニア室長 山本 歩

今年度も海外学生派遣をはじめとする様々な国際交流活動が行われました。令和6年12月20～22日にかけてプリンセスチュラポンサイエンスハイスクール（タイ）で開催されたタイ日交流サイエンスフェア2024に電気情報工学コース3年の白石光さん、マインドさんが参加し、オープニングセレモニーにて日本代表として口頭発表を行いました。

また、昨年度に引き続き今年度も文藻外語大学（台湾）における語学研修を実施いたします（令和7年3月14～20日）。今年度は八戸高専から18名、函館高専から1名の計19名が参加予定です。英会話クラスの受講だけでなく現地学生との交流も通じて、語学力の向上および国際的感覚の涵養に励みます。

コロナ禍で交流が中断していたエドグレン高校（三沢基地内）との交流を再開するために土屋校長および関係教員が表敬訪問しました。今年度の自主探究ポスター発表会への招待を皮切りに、次年度も継続した交流を行う予定です。令和7年度には、タイ高専（KOSEN - KMUTT, バイオ工学科）の学生15名を6～7月の1カ月間、インターンシップとして受入れ、研究プロジェクトの実施や授業への参加、学生交流などを行う予定です。青森県にいながら海外の雰囲気を感じることができるような機会を生み出したいと考えています。

今後も英語力やコミュニケーション力の向上につながる取り組みを行う予定なので、積極的な参加をご検討ください。



タイ日交流サイエンスフェアでの発表の様子

留学生だより:国際交流室から

国際交流室長 吉田 雅昭

八戸高専には現在、タイ、ラオス、モンゴル、インドネシアからの留学生が23人在籍しています。入学したその日から、留学生向けではない「生の日本語」で、日本人学生と同じ授業を受けています。非漢字圏の留学生にとって漢字は本当に大変です。



画数が多い漢字は当然、画数が少ない漢字にも違う読み方がたくさんあります(例:三月一日は日曜日で次の日も祝日なので日程を変更します)。教科書も試験も専門用語も漢字ばかりです。それでも留学生は頑張っています。

八戸高専には、日本人学生と留学生の交流を通して、言語能力向上と異文化理解を深めるための「JJ-Chat」という活動があります。



そこでは、伝統文化の体験のほか、日本人学生は英語で、留学生は日本語で、実験動画を使ったプレゼンにチャレンジしたりしています。放課後の活動なので、忙しい高専生に集まってもらうのは一苦労なのですが、留学生チューターを中心に国際交流に興味を持った日本人学生が参加しています。「JJ-Chat」は月1回のペースで開催しています。楽しい活動を通して、日本語や英語の能力をもっと高めてみませんか。外国へ行かなくても、八戸高専ならグローバルな感覚を培えます。

苦しみから解放されるには?

相談室長 中村 嘉孝

人は生きてると様々な出来事、嫌なことや苦しい事などに出逢います。我々教職員も保護者の方々も、日々、似たような経験をします。若い時は経験が少ないため、どの様に受け止めたら良いか分からず、感情を処理できず、悩み始めます。苦しみを与えた、その人が許せなくて、ずっとその感情を握りしめて手放さない。その結果、苦しみは続きます。一般的には「苦しみを与えた人が悪い」と思ってしまいます。確かにその通り。しかし、逆の見方、「一瞬の出来事なのに執着し、苦しむ考えを自分で選択して考え続ける、と言う選択を自分がしている。結局、自分で自分を苦しめている」と言う解釈も出来ます。苦しみの現象を握りしめる人(悩みやすい人)もいれば、直ぐに手放す人(あまり悩まない人)もいます。心穏やかに暮らすためには、その思いをすぐに手放す事です。すると苦しみから解放されます。最近、臨濟宗円覚寺の横田老師のYouTubeを視聴して勉強しているのですが、仏教の世界では心が平安である事を最優先します。不条理な刺激が入っても、すぐにその思いを手放して、心を平穏にするように努める事をよしとしている様です。平穏な心は、より良い判断と選択を促すので、大きな苦しみに発展し難い。悔しくて、すぐに手放して、心を平穏に保つ。穏やかに生きる一つの方法です。

○怒りの出来事は一瞬

- ・怒りの感情を、固く握り締めて、手放さない
→苦しみは続く
- ・怒りの感情を、すぐに手放す
→苦しみは一瞬だけで、心は平穏

悪口や陰口を言う事は人を傷つけ、時には人を死に追いやる事もあり、勿論、避けるべきです。しかし、社会は様々な人間がいて避けられない場合も多くあります。外部刺激の多い環境の中で、長い人生を如何に平穏に暮らせるか、その方法の一つが「執着せず、手放す」です。人の心は大空の雲と同じです。雷雲が現れ、やがて、穏やかな青空が現れます。雲に執着はありません。雲の様に生きるのも一つです。相談室では心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラー等による支援を行っています。カウンセリングを希望する場合は日時を予約頂いての対応になります。詳しくは、0178-27-7236 にお問い合わせください。

ダイバーシティ推進委員会から

ダイバーシティ推進委員長 本間 哲雄

ダイバーシティ推進委員会はジェンダーギャップの解消はもちろん、年齢、人種、国籍、宗教、障がい、性的少数者であることを理由とする差別がない学校環境を作ることがビジョンとして掲げています。ダイバーシティ推進委員会は、このビジョンを達成するために様々な取り組みを行うことで、学生・教職員・保護者など、本校に関わる全ての人がダイバーシティへの理解を深め、行動・推進されることを願っています。

今年度、ダイバーシティ推進委員会では、ろぼっと娘の多大なる協力を頂き、出前授業・展示を進めてきました。また、12月には「こうせん×美術館 アートコラボ」へ参加し、ろぼっと娘の展示だけでなく、ロールモデルとなる専攻科生のポスター発表・懇談を行いました。同じく、12月には岩手大学から山田香織先生をお迎えして、ロールモデル講演会を行いました。さらには、1月にかけてダイバーシティ推進に関するアンケートを行い、500名近くの学生さんから回答を頂きました。協力してくださった学生の皆さんに感謝申し上げます。このアンケートからは90%以上の学生がダイバーシティという言葉を知っているのですが、ダイバーシティ推進に関心がある学生は33%程度でした。ダイバーシティ推進委員会は、この伸びしろのある結果をダイバーシティの推進と効果測定に活用したいと考えます。

ところで、皆さんは他高専の学生と交流をしたことがあるでしょうか？高専大会やコンテストなどが当てはまります。学校が提供するイベントでは、まず相互理解のために無意識に様々な努力を行っていると思います。その相互理解に向けた努力を行うことは、自分とは生まれも価値観も違う人を理解する能力を養っていると思います。私は、今、学生である君たちの年代こそが、このような体験を得る貴重な時期だと考えています。積極的に様々な交流イベントに参加して、他人を理解・受容する力を養うことで人間性を高め、本校だけでなく、社会におけるダイバーシティの推進のために活躍してほしいと思います。

はじめまして、 イノベーションハブです

イノベーションハブ管理者 丹羽 隆裕

2024年11月、長い準備期間を経て、八戸高専に「イノベーションハブ」がオープンしました。場所は八戸高専最北の地、それまで教室として、古くは合宿所として利用されていた記念会館が「誰もが使える実験施設」として生まれ変わりました。室内は大掛かりな実験が可能な広いスペースを確保し、匂いや色、さらには人の心拍数など通常なら測定が難しい量を測るセンサー、動画記録の編集やAIの開発に耐えうる高性能なパソコン、季節に関係なく植物を育てられる装置など、これまでの自主探究で取り上げられたテーマを参考に、研究分野に関わらずさまざまな実験装置を導入しました。八戸高専が自主探究を導入して10年が経ちますが、これまで特に1～3年生までの低学年が自由に使える実験施設がなかったため、日常でふと疑問に思ったこと、試してみたいことに1年生から目一杯チャレンジできる、待望の施設の誕生です。

イノベーションハブには自由に実験室として使える「実験エリア」のほか、友人同士での勉強やアイデア出し、ミーティングで利用可能な「ミーティングエリア」、普段フル回転している(?)頭脳をリフレッシュできる「アートエリア」など、単なる実験室としての枠組みを超え、コースや学年、学生と教職員の枠をも超えて人が集い、アイデアの種を育てる場として、そして将来的には地域の方、とりわけ地域の子どもたちにも開かれた「科学の公民館」として活用することも目指しています。

これから先、どうぞよろしくお願いします。



図書館からのお知らせ

図書館長 釜谷 博行

令和6年7月8日(月)に八戸ブックセンターにおいて、ブックハンティングを実施しました。当日は12名の学生が自然科学、数学、小説など図書25冊を選書しました。選書中には日本経済新聞社の方から取材を受けました。図書館では、ブックハンティングコーナーを設けて展示しております。



また、別の場所には本校の教員が推薦する図書の展示コーナーを設けています。



● 購入図書の一覧について ●

下記のQRコードを読み込んだ先のページ下にある、タグ表から「2024ブックハンティング」、「教員推薦図書」、「学生会図書委員会オススメ本」のタグをタップすると、それぞれのコーナーの図書一覧が表示され、確認できます。

皆様のご利用をお待ちしております。



プロコン特別賞・企業賞！ PC甲子園出場電工部活躍

電子情報工学部顧問 細川 靖

全国高等専門学校第35回プログラミングコンテストは奈良で行われた。プロコンは高専生が、情報通信技術におけるアイデアと実現力を競うもので、課題・自由・競技の3部門で構成され、高専生の独創的なアイデアとアイデアを実現する技術力を世に問う機会である。自由部門57作品の中から、E3白石君らで本選に出場した「AIデンティファイー安全で楽しいSNSライフをあなたにー」がアイデアと実現力が認められ敢闘賞と、トヨタシステムズ企業賞を受賞した。八戸高専では初の企業賞の受賞でメンバーは副賞に歓喜した。

競技部門は文化財の修復をモチーフに、複数のピースから構成されるボードに、複数の抜き型を適用して抜き型と一致したピースを抜き、抜けたピースを上下左右いずれかの方向から詰めて補い修復する。海外の大学なども参加した63チームの中、E3長谷川君らの「巨肩人の上に立つ」チームは、トラブルで惜しくも準決勝で敗退したが、優勝できる実力を持ったプログラムを開発したとして、「特別賞」を受賞した。八戸高専の特別賞受賞は令和元年以来6年ぶりとなる。

また、PC甲子園2024では、東北地区代表として、E3長谷川君・仲山君の「今日のご飯は餃子です」チームが本選に出場した。上位入賞はなかったが32チーム中10位の成績で、そのプログラミング力を全国にアピールできた。アットコードでの入賞など今年度は夏合宿から電工部として成果が出始めており、次年度はぜひ優勝を目指して欲しい。



第59回（令和6年度）全国高等専門学校体育大会 結果一覧

団体の部

競技名	男子	女子	大会日程等
卓球	3位決定トーナメント 敗退	準優勝	日程：令和6年8月31日(土)～9月1日(日) 会場：ウインドヒルクしろスーパーアリーナ（湿原の風アリーナ釧路）

個人の部

競技名	種目名	クラス	氏名	成績	大会日程等
陸上競技	男子 800m	Z 5	齊 下 尊 成	予選敗退	日程：令和6年9月7日(土)～9月8日(日) (予備日：9月9日(月)) 会場：釧路市民陸上競技場
	男子 110mH	L 4 / M 1	工 藤 優 真	決勝 8 位	
	男子 走高跳	C 3	三 浦 悠 杜	決勝 7 位	
	男子 走高跳	L 4 / C 1	新 堂 勇 海	記録なし	
	男子 円盤投	M 5	浅 木 慎之介	決勝 4 位	
	女子 100mH	Z 5	祐 川 和 奏	決勝 3 位	
	女子 走高跳	Z 5	祐 川 和 奏	決勝 1 位	
	女子 砲丸投	M 3	永 澤 七 明	決勝 6 位	
	女子 砲丸投	Z 5	嶋 守 和 夢	決勝 4 位	
	女子 円盤投	M 3	永 澤 七 明	決勝 2 位	
テニス	男子個人戦ダブルス	M 3	宮 崎 冬 雅	1 回戦敗退	日程：令和6年8月21日(水)～8月23日(金) 会場：苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場
		M 3	向谷地 孝 啓		
剣道	女子個人戦	Z 2	山 本 藍 里	1 回戦敗退	日程：令和6年9月7日(土)～9月8日(日) 会場：リクルートスタッフィング リック&スー 旭川体育館（旭川市総合体育館）
卓球	男子 シングルス	C 4	和 田 佳 都	3 位	日程：令和6年8月31日(土)～9月1日(日) 会場：ウインドヒルクしろスーパーアリーナ (湿原の風アリーナ釧路)
	男子 ダブルス	E 5	中新井田 登大	3 位決定 トーナメント 敗退	
		C 4	和 田 佳 都		
	女子 シングルス	C 4	田 中 蒼 空	3 位	
	女子 ダブルス	C 4	蛭 名 歩 来	3 位	
C 4		田 中 蒼 空			
水泳競技	男子400mメドレーリレー	L 4 / M 1 佐藤 啓達 M 2 引木 優介 C 4 神 偉晴 L 3 / M 1 奈良岡琉慧		決勝 5 位	日程：令和6年8月31日(土)～9月1日(日) 会場：北海道立野幌総合運動公園プール
	男子200mバタフライ	C 4	神 偉 晴	決勝 4 位	
	男子100mバタフライ	C 4	神 偉 晴	予選敗退	
	男子100m平泳ぎ	M 2	引 木 優 介	決勝 6 位	
	男子200m平泳ぎ	M 2	引 木 優 介	決勝 4 位	
	男子400m自由形	M 2	遠 山 悠 生	タイム 決勝22位	
	男子50m自由形	L 3 / M 1	奈良岡 琉 慧	予選敗退	
	男子100m自由形	L 3 / M 1	奈良岡 琉 慧	予選敗退	
	女子100m背泳ぎ	L 2 / M 1	小 柴 結 心	決勝 7 位	
	女子200m個人メドレー	L 2 / M 1	小 柴 結 心	決勝 5 位	

令和6年度 各種コンテスト結果一覧

競技種目	日程・会場	結果
水のある生活・風景 フォトコンテスト	令和6年6月2日	入選 「重なる水紋」 M2 岡田 真穂
	八戸圏域水道企業団庁舎	
正子のチューリップ園 写真コンテスト	令和6年6月5日	最優秀賞 「ここだよー！」 Z5 沼上 和樹
	正子のチューリップ園	
青森県高校囲碁選手権大会兼第48 回全国高校囲碁選手権大会県予選	令和6年6月15日	個人戦 男子Aクラス 優勝 E3 佐藤 響, 準優勝 E2 高田 悠央
	八戸市 YSアリーナ	
第64回三八・上北地区高等学校 演劇部合同発表会兼県大会予選	令和6年9月14日～15日	優秀賞
	八戸市南郷文化ホール	
ETロボコン2024 東北地区大会 プライマリークラス	令和6年9月22日	奨励賞 受賞 (地区特別表彰) チーム名: TN:SKYS (E4川口 翔哉,E4山本 泰成,E4関下 哩駆, E4外山 利空,E4高島 唯利,E4西村 将)
	いわて県民情報交流センター	
AtCoder Junior League 2024 Summer	令和6年9月30日	ヒューリスティック部門 高校3年個人第2位 E3 長谷川 隼也 ヒューリスティック部門 高校部門第9位 E3 長谷川 隼也, 仲山 陽大, 坂本 昂星, 佐藤 聡太, 伊藤 颯, 白石 光, E1 岩崎 裕真, 森田 辰乃祐
	オンライン	
Hondaエコマイレージチャレンジ 全国大会	令和6年10月12日～13日	CNグループⅢ (CN大学・短大・高専・専門学校生クラス) 第1位 グループⅢ (CN大学・短大・高専・専門学校生クラス) 第3位
	モビリティリゾートもてぎ	
第35回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト	令和6年10月19日～20日	自由部門 敢闘賞 トヨタシステムズ企業賞 「AI デンティファイ」-安全で楽しいSNSライフをあなたに- E3 白石 光, 館向 大輔, 熊野 りお, 杉本 慎之介, E1 三浦 士 競技部門 特別賞 「巨肩人の上に立つ」 E3 長谷川 隼也, 佐藤 僚亮, 仲山 陽大
	奈良市 なら100年会館	
アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2024 東北地区大会	令和6年10月20日	Aチーム (ぶっとべ! 次の段階へ!) デザイン賞, 特別賞 (本田技研工業株式会社) M4 梅澤 翔吾, E4 加藤 優, M4 田中 幸穂
	鶴岡市藤島体育館	
第21回全国高等専門学校 デザインコンペティション 構造デザイン部門: つなげる架け橋	令和6年11月2日～3日	日刊建設工業新聞社賞 (5位/52チーム) 「橋、好きになりました。」 Z4 天間 大斗, Z4 岩織 圭汰, Z4 田村 虎太郎, Z4 江渡 修司, Z4 沢口 東也, Z4 松枝 賢勢
	阿南工業高等専門学校	
全国高等学校 パソコンコンクール2024	令和6年11月2日～11月3日	プログラミング部門本選 15位 「今日のご飯は餃子です」 E3 長谷川 隼也, 仲山 陽大
	会津若松市 会津大学	
青森県高校囲碁新人大会兼第49回 全国高校総合文化祭囲碁部門県予選	令和6年12月7日	個人戦 男子Aクラス 優勝 E2 高田 悠央
	八戸市 ユートリー	
令和6年度 学生&高校生 まちづくりコンペティション	令和7年2月22日	市長賞 (1位) チーム名: 八戸高専 Z4ボードゲーム愛好会
	八戸ポータルミュージアム はっち	

ロボコン



デザコン



エコラン



まちづくりコンペティション



令和6年度 各種検定資格合格者数一覧

		第1学年					第2学年					第3学年					第4学年					第5学年					合計
		M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	
特 別	一 般	実用英語技能検定2級			1	1			1	1	2				2				0				0			0	4
		実用英語技能検定準1級				0				0					0		1		1							0	1
		漢字能力検定2級				0				0					0				0							0	0
		漢字能力検定準1級				0				0					0				0							0	0
		技術英語検定3級				0				0	1				1				0							0	1
		技術英語検定2級				0				0					0				0							0	0
		数学検定2級				0				0					0				0							0	0
		数学検定準1級				0				0			1		1				0			1				1	2
		TOEIC 501点以上600点未満				0				0		1		1	2	2	1	5	2	2		2	6			12	12
	TOEIC 600点以上730点未満				0				0				0	2		1	3			1	2	3			6	9	
	TOEIC 730点以上				0				0				0	2	1	2	1	6		3	1	1	5			11	
	知的財産管理技能士3級				0				0						0			0							0	0	
	知的財産管理技能士2級				0				0						0			0							0	0	
	日本語能力試験N3				0				0						0			0							0	0	
	日本語能力試験N2				0			1	1						0			0							0	1	
	日本語能力試験N1				0	1			1	1	1	1	2				0								0	3	
	学 修 専 門	技術士第1次試験				0				0					0			0							0	0	
		ラジオ音響技能検定3級				0				0					0			0							0	0	
情報システム試験システムエンジニア認定					0				0					0			0							0	0		
デジタル技術検定3級					0				0					0			0							0	0		
2次元CAD利用技術者試験2級					0				0				0	1			1	1						1	2		
ITパスポート					0				0					0			0							0	0		
基本情報技術者					0				0					0			0		1					1	1		
応用情報技術者					0				0					0			0							0	0		
ボイラー技士2級					0				0					0			0							0	0		
電気主任技術者3種					0				0					0			0							0	0		
電気工事士2種					0				0			1	1				0							0	1		
危険物取扱者乙種(第4類)					0				0	1		1	1	3			1	1			1	1	2		6		
危険物取扱者乙種(第4類以外)					0				0					0		1	1							0	1		
危険物取扱者甲種					0				0					0			0							0	0		
消防設備士乙種(いずれかの類)					0				0					0			0							0	0		
2級土木施工管理技術検定試験				0				0					0			2	2				1	1	3				
2級建築施工管理技術検定試験				0				0					0			1	1						0	1			
土木技術検定試験				0				0					0			0							0	0			

令和6年度 スポーツ賞受賞者一覧

クラブ名	(表彰を受けた)団体名等	名 称	クラス	氏 名
バレーボール部	八戸市バレーボール協会	優秀選手賞(一般の部)	M2	蛭 沢 祈 莉
バレーボール部	八戸市バレーボール協会	優秀選手賞(一般の部)	Z2	北 城 百 花
バレーボール部	八戸市バレーボール協会	奨励賞(一般の部)	C2	チャボディー ケオノイ(ペートン)
バレーボール部	八戸市バレーボール協会	奨励賞(一般の部)	E2	ナバツソ ンルアンカモンジンダ(アーイ)
バレーボール部	八戸市バレーボール協会	奨励賞(高校の部)	E2	栗 原 沙 樹 人
バレーボール部	八戸市バレーボール協会	奨励賞(高校の部)	L2/C1	桂 蒼 依

